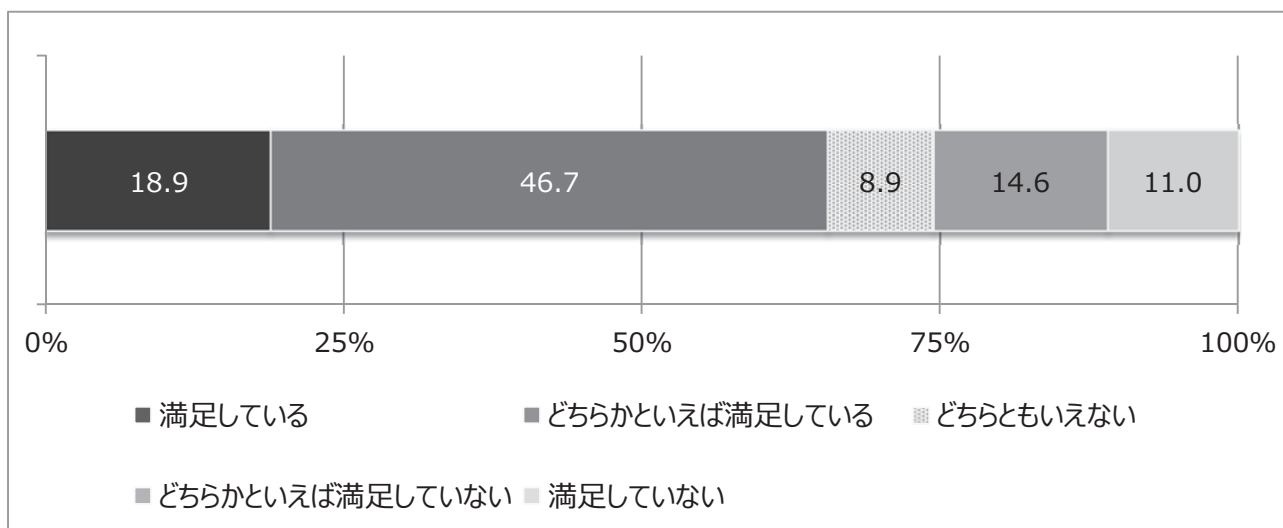


第2章 主要な設問に関する調査結果

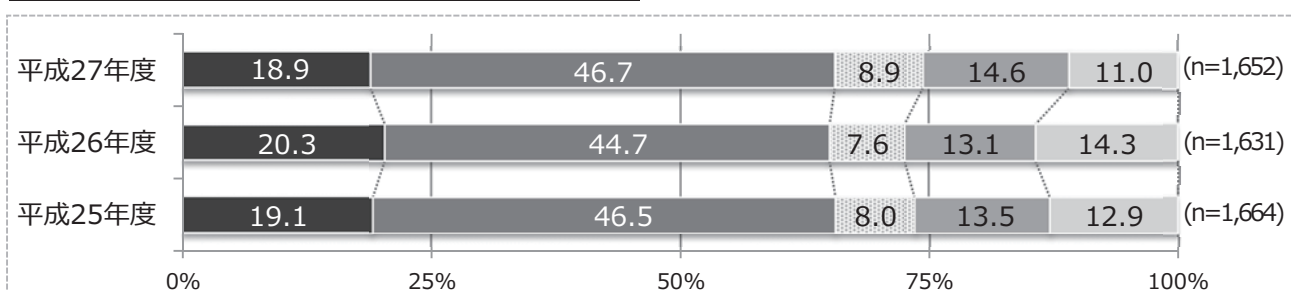
1 生活満足度

設問 1 現在の生活に満足していますか。 n=1,652



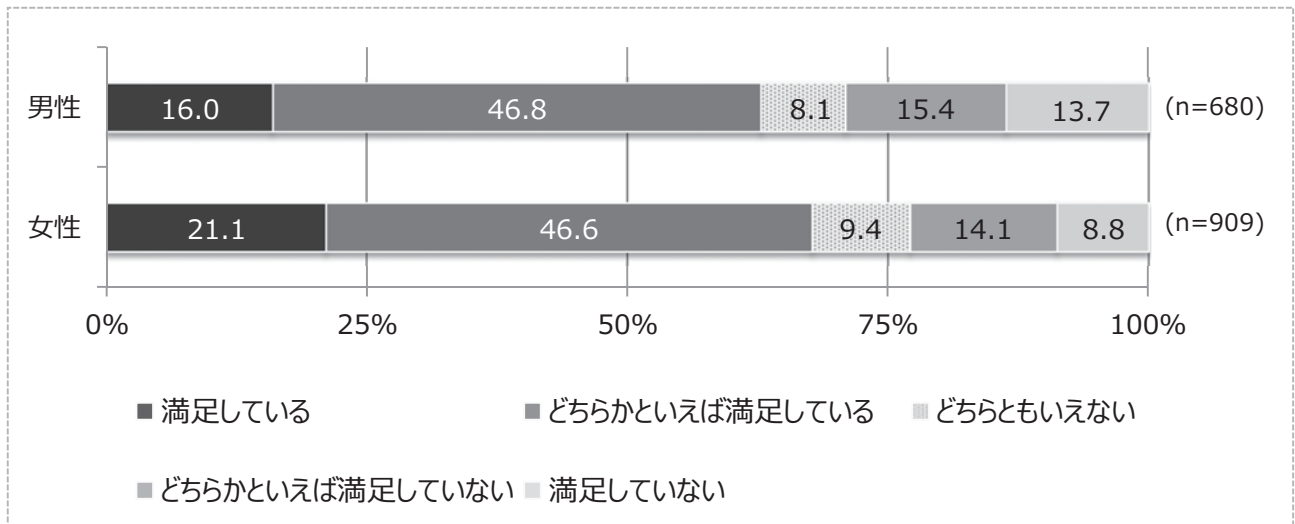
生活満足度については、「満足している」(18.9%)、「どちらかといえば満足している」(46.7%)と回答した割合の合計が 65.6%となった。一方で「満足していない」(11.0%)、「どちらかといえば満足していない」(14.6%)と回答した割合の合計は 25.6%となった。

平成 25 年度、平成 26 年度調査結果との比較



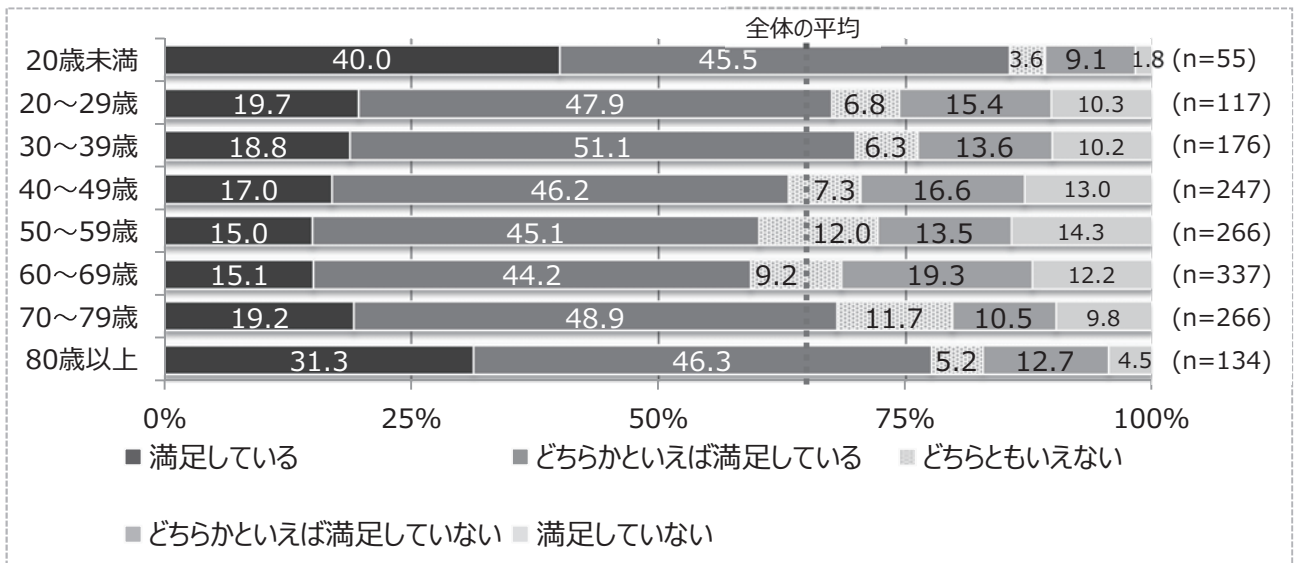
過去の調査結果と比較すると、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計(65.6%)は、平成 25 年度(65.6%)、平成 26 年度(65.0%)と比較して、大きな変化はみられなかった。

男女別構成とのクロス集計 n=1,589



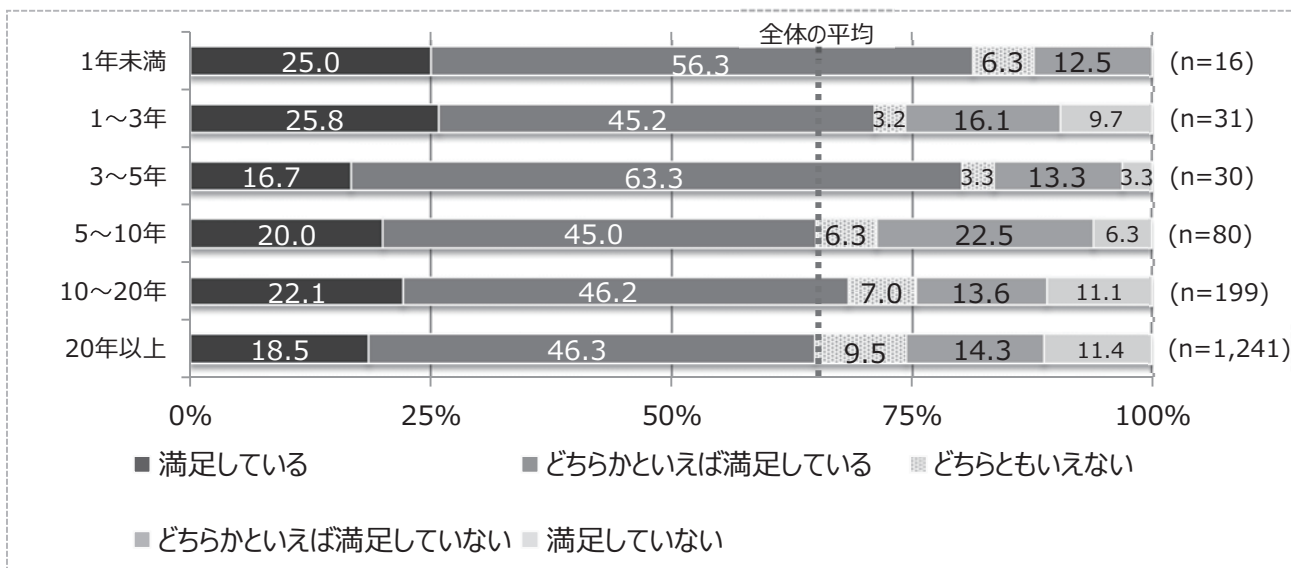
男女別に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を比較すると、「女性」(67.7%)が「男性」(62.8%)を上回った。

年齢階層別構成とのクロス集計 n=1,598



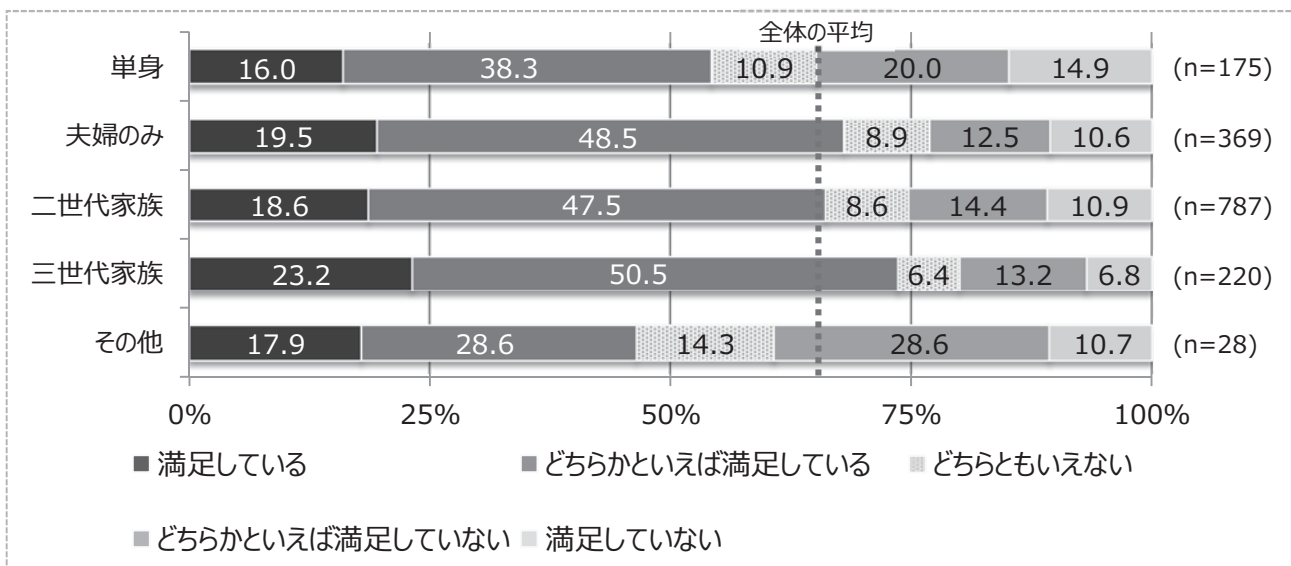
年齢階層別に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均(65.6%)と比較すると、「20歳未満」(85.5%)、「80歳以上」(77.6%)が平均を大きく上回り、「30～39歳」(69.9%)、「70～79歳」(68.1%)、「20～29歳」(67.6%)でも平均を上回った。一方で「60～69歳」(59.3%)、「50～59歳」(60.1%)、「40～49歳」(63.2%)では平均を下回った。

居住年数別構成とのクロス集計 n=1,597



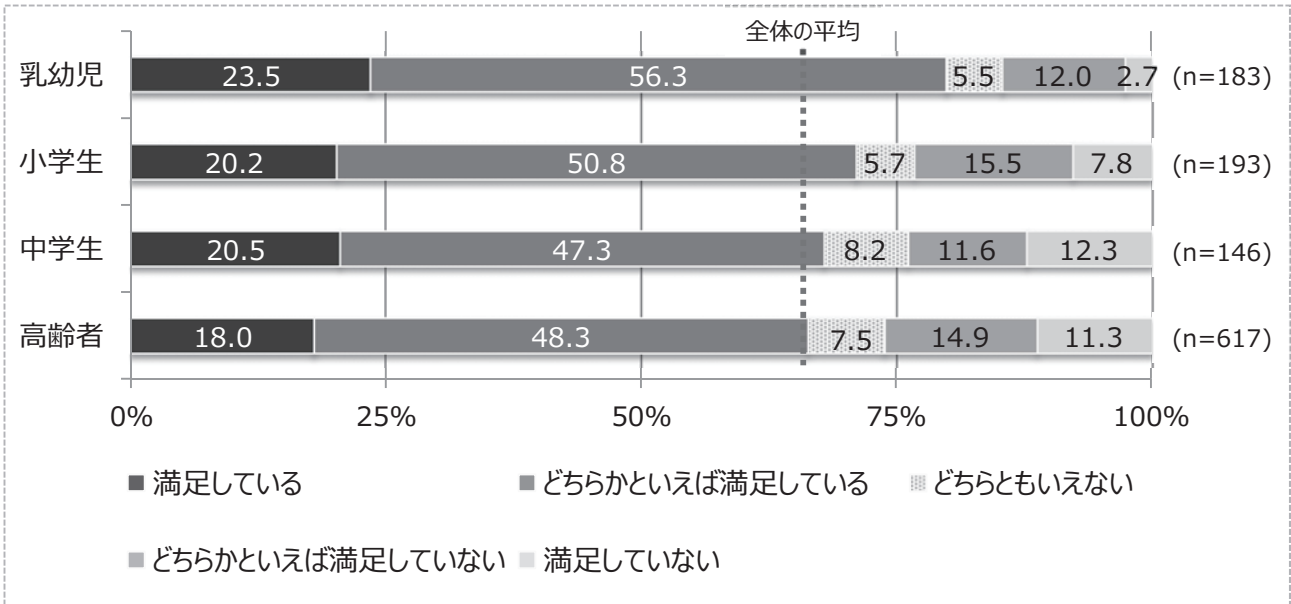
居住年数別に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均(65.6%)と比較すると、「1年未満」(81.3%)、「3年以上5年未満」(80.0%)、「1年以上3年未満」(71.0%)が平均を大きく上回り、「10年以上20年未満」(68.3%)でも平均を上回った。一方で「20年以上」(64.8%)、「5年以上10年未満」(65.0%)では平均を下回る、または近似した値となった。

家族構成とのクロス集計 n=1,579



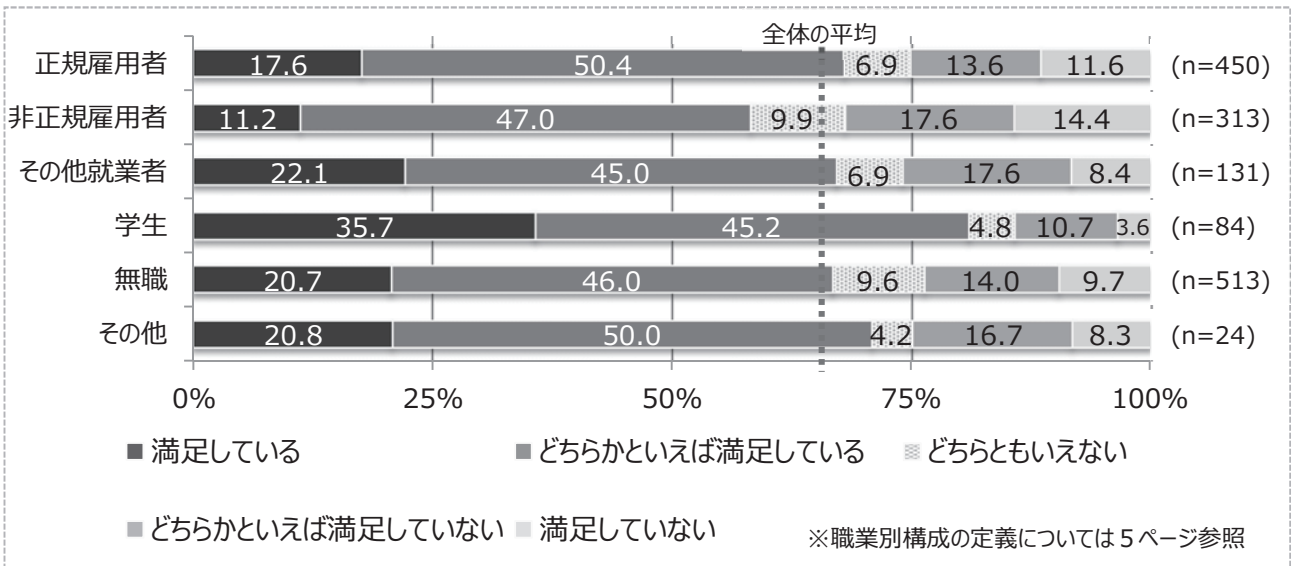
同居家族別(「その他」を除く)に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均(65.6%)と比較すると、「三世世代家族」(73.7%)、「夫婦のみ」(68.0%)、「二世世代家族」(66.1%)が平均を上回る、または近似した値となった。一方で「単身」(54.3%)では平均を下回った。

乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯とのクロス集計



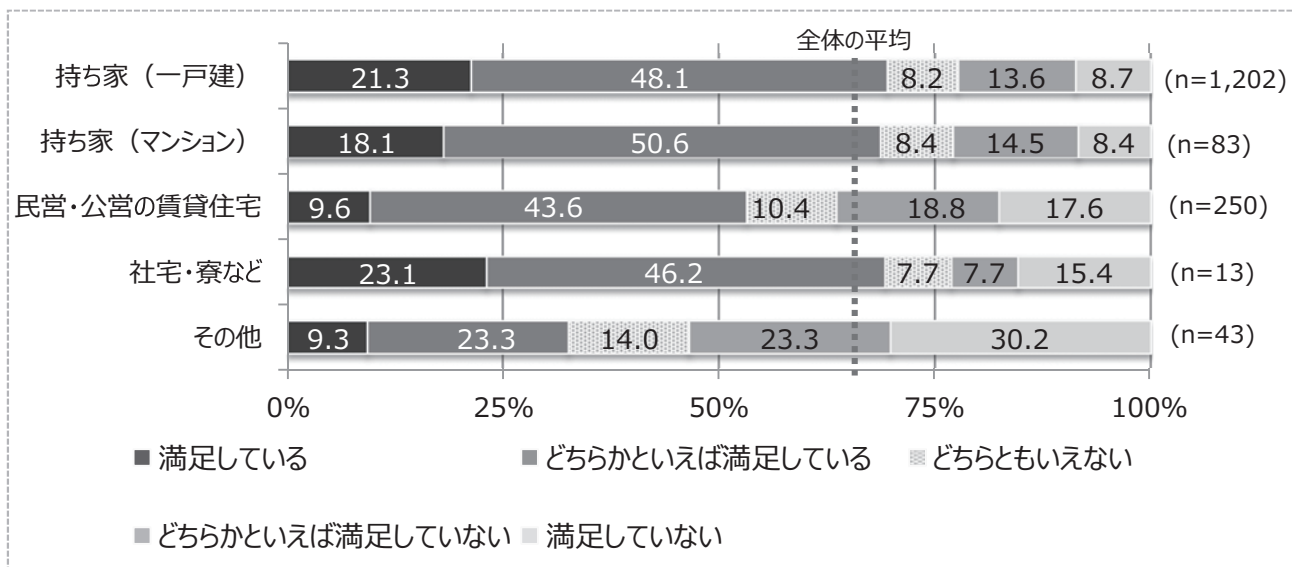
乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯別に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均(65.6%)と比較すると、「乳幼児」のいる世帯(79.8%)が平均を大きく上回り、「小学生」のいる世帯(71.0%)、「中学生」のいる世帯(67.8%)、「高齢者」のいる世帯(66.3%)でも平均を上回る、または近似した値となった。

職業別構成とのクロス集計 n=1,515



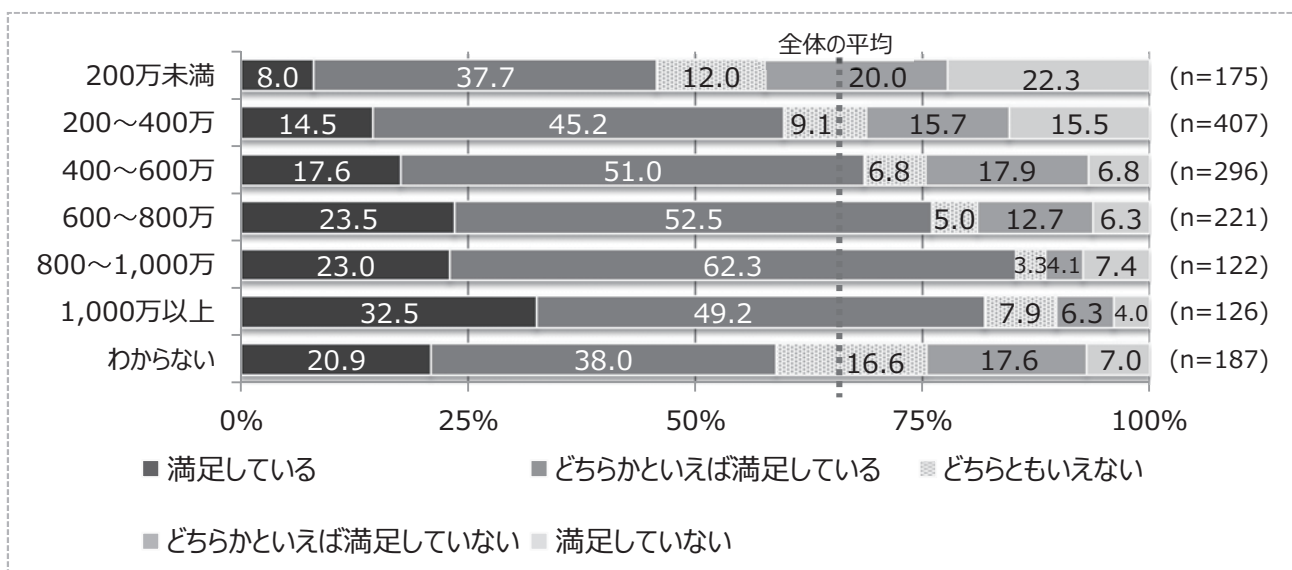
職業別(「その他」を除く)に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均(65.6%)と比較すると、「学生」(80.9%)が平均を大きく上回り、「正規雇用者」(68.0%)、「その他就業者」(67.1%)、「無職」(66.7%)でも平均を上回った。一方で「非正規雇用者」(58.2%)では平均を下回った。

住宅構成とのクロス集計 n=1,591



住宅別（「その他」を除く）に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均（65.6%）と比較すると、「持ち家（一戸建て）」（69.4%）、「社宅・寮など」（69.3%）、「持ち家（マンション）」（68.7%）が平均を上回った。一方で「民営・公営の賃貸住宅」（53.2%）では平均を大きく下回った。

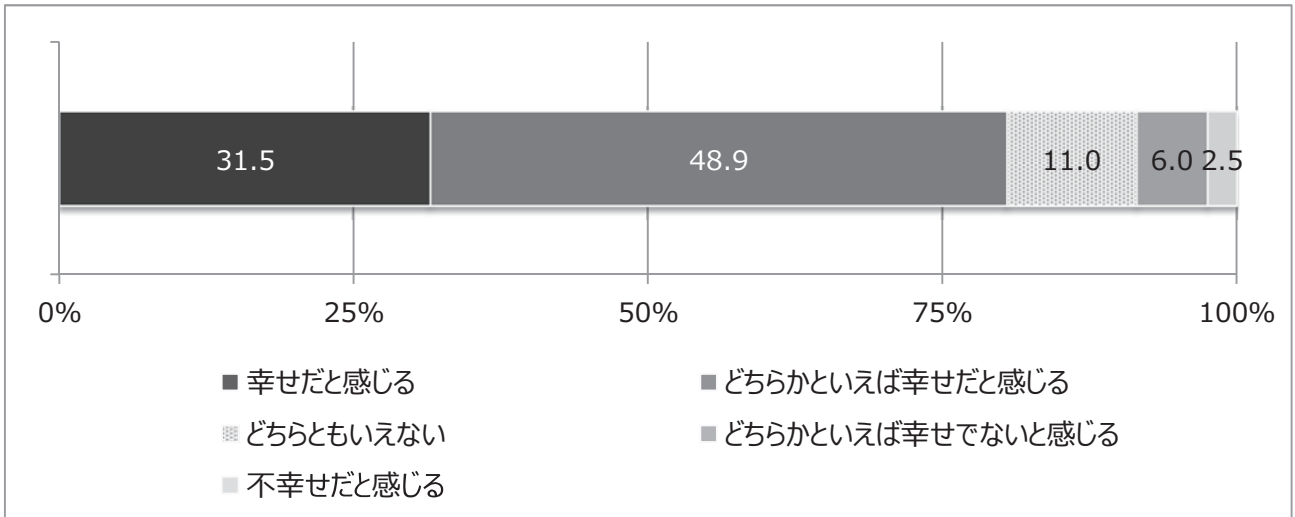
世帯収入別構成とのクロス集計 n=1,534



世帯収入別（「わからない」を除く）に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均（65.6%）と比較すると「800 万以上～1,000 万未満」（85.3%）、「1,000 万以上」（81.7%）、「600 万以上～800 万未満」（76.0%）が平均を大きく上回り、「400 万以上～600 万未満」（68.6%）でも平均を上回った。一方で「200 万未満」（45.7%）では平均を大きく下回り、「200 万以上～400 万未満」（59.7%）でも平均を下回った。

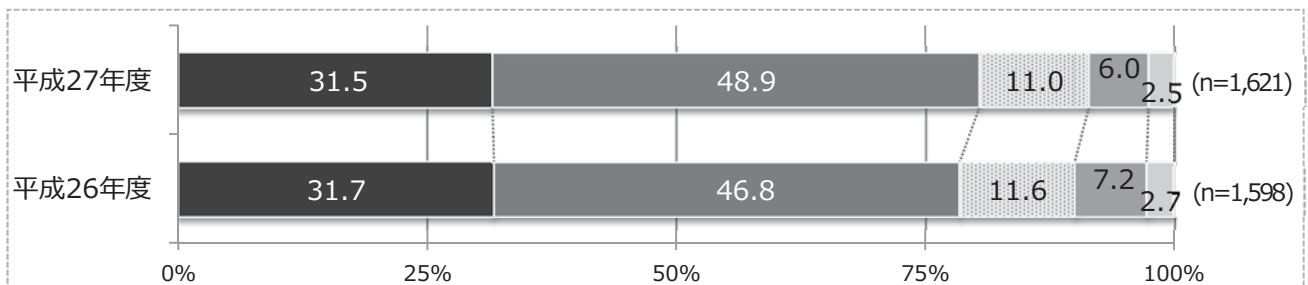
2 幸福感

設問 32 現在、あなたは幸せだと感じますか。 n=1,621



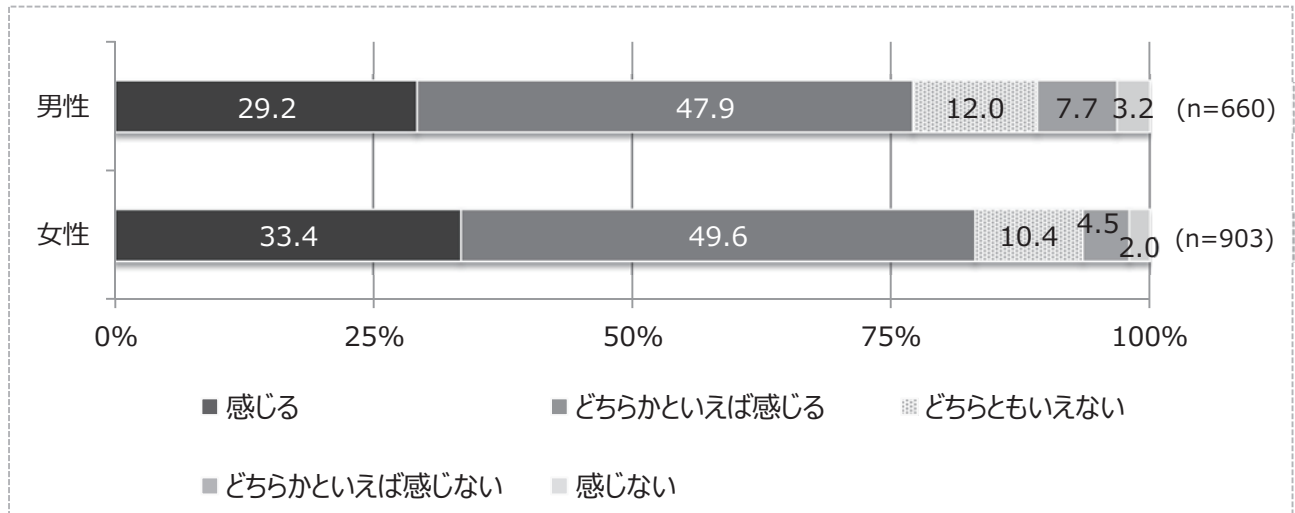
幸福感については、「幸せだと感じる」(31.5%)、「どちらかといえば幸せだと感じる」(48.9%)と回答した割合の合計が 80.4%となった。一方で「不幸せだと感じる」(2.5%)、「どちらかといえば幸せでないと感じる」(6.0%)と回答した割合の合計は 8.5%となった。

平成 26 年度調査結果との比較



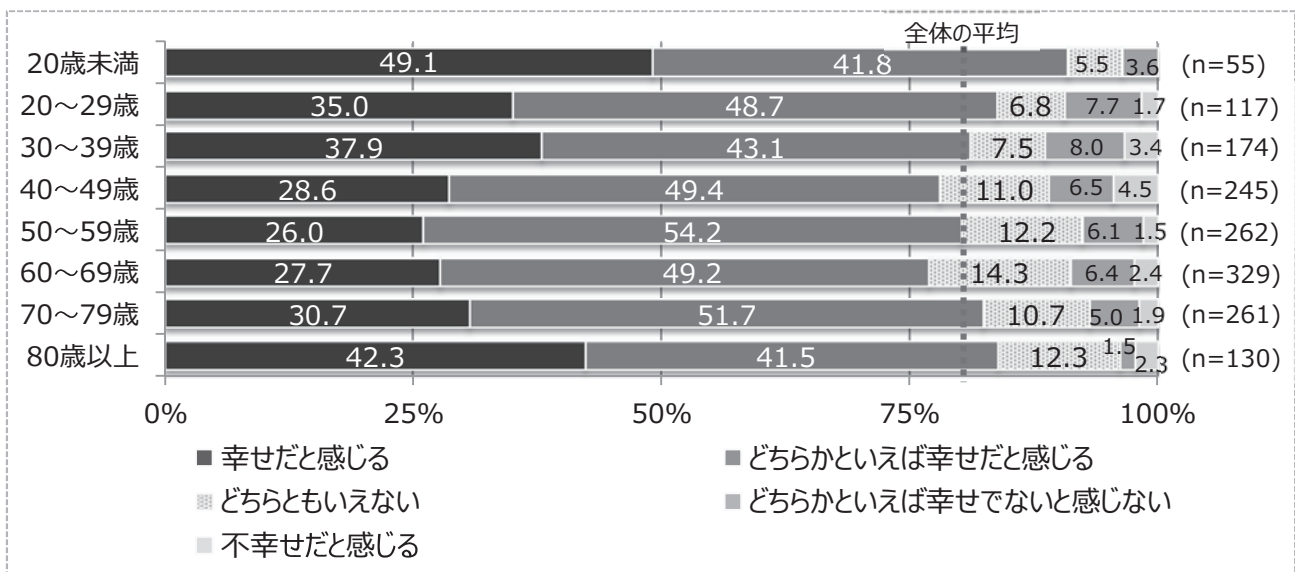
過去の調査結果と比較すると、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計(80.4%)は、平成 26 年度(78.5%)と比較して増加した。

男女別構成とのクロス集計 n=1,563



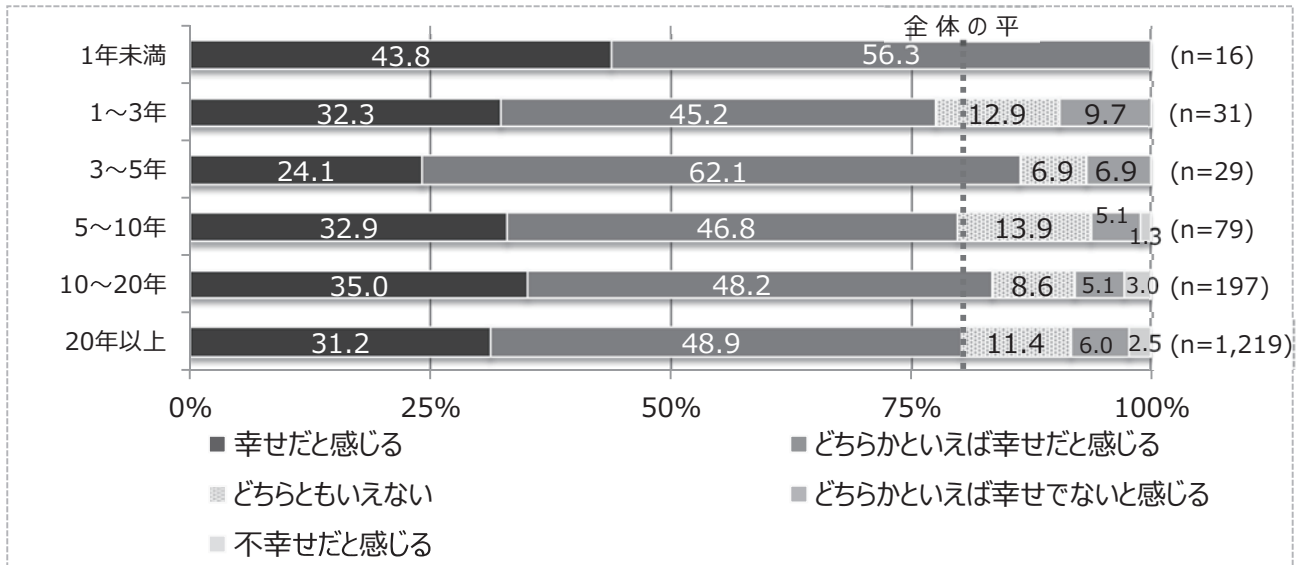
男女別に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を比較すると、「女性」(83.0%)が「男性」(77.1%)を上回った。

年齢階層別構成とのクロス集計 n=1,573



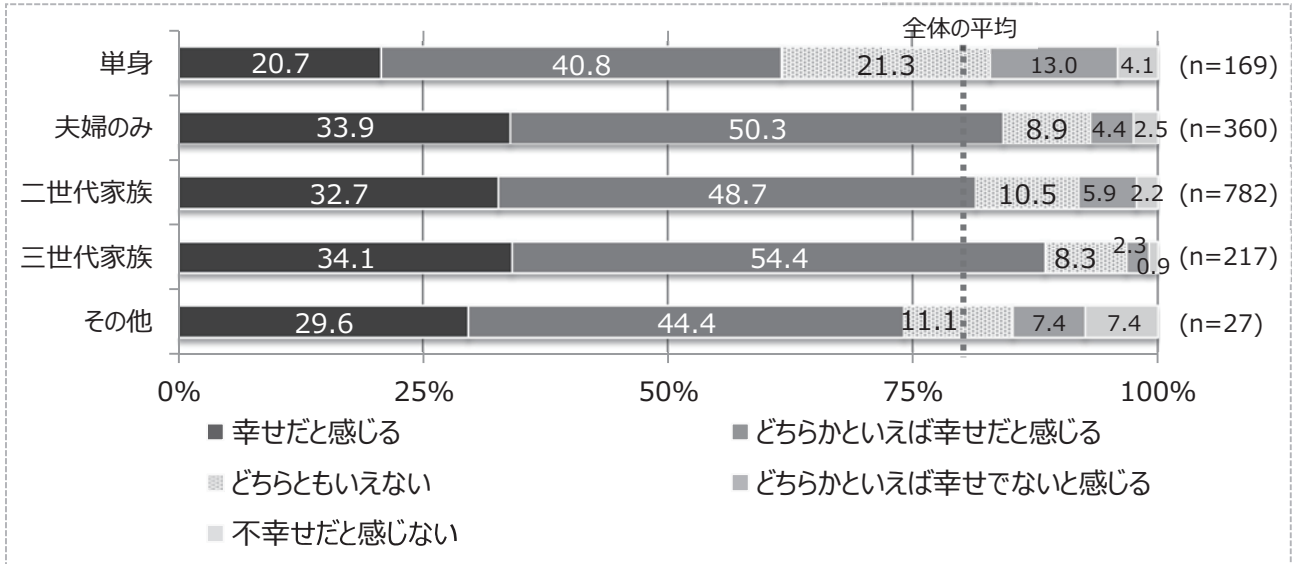
年齢階層別に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(80.4%)と比較すると、「20歳未満」(90.9%)が平均を大きく上回り、「80歳以上」(83.8%)、「20～29歳」(83.7%)、「70～79歳」(82.4%)、「30～39歳」(81.0%)でも平均を上回る、または近似した値となった。一方で「60～69歳」(76.9%)、「40～49歳」(78.0%)、「50～59歳」(80.2%)では平均を下回る、または近似した値となった。

居住年数別構成とのクロス集計 n=1,571



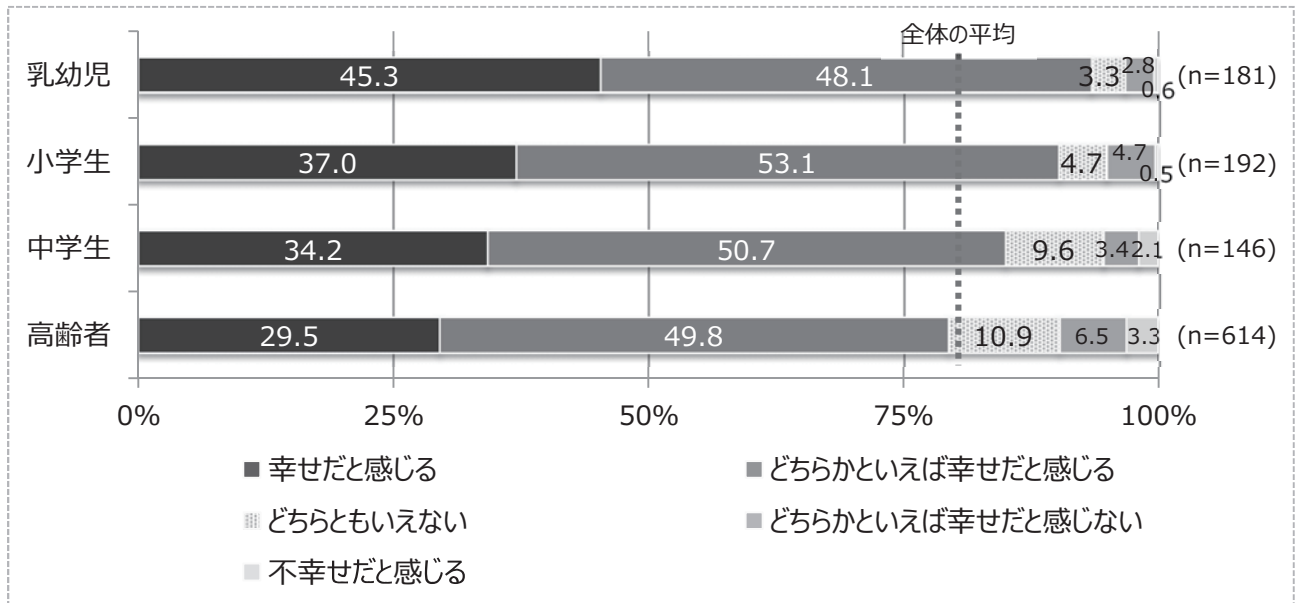
居住年数別に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(80.4%)と比較すると、「1年未満」(100.1%)が平均を大きく上回り、「3年以上5年未満」(86.2%)、「10年以上20年未満」(83.2%)でも平均を上回った。一方で「1年以上3年未満」(77.5%)、「5年以上10年未満」(79.7%)、「20年以上」(80.1%)では平均を下回る、または平均に近似した値となった。

家族構成とのクロス集計 n=1,555



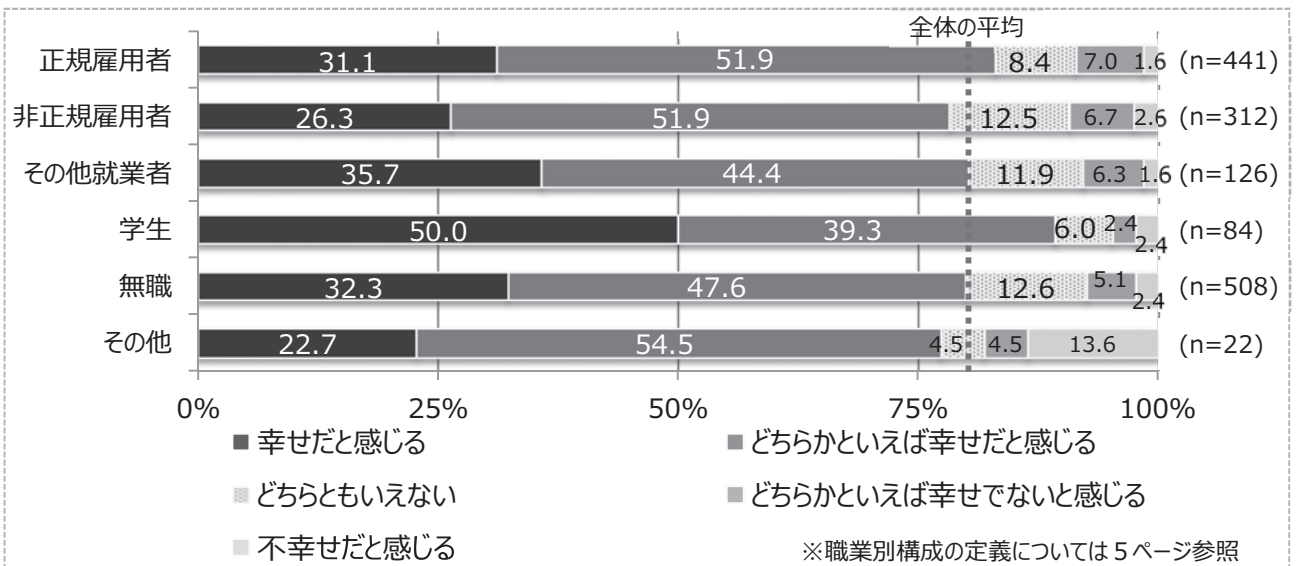
同居家族別(「その他」を除く)に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(80.4%)と比較すると、「三世世代家族」(88.5%)、「夫婦のみ」(84.2%)、「二世世代家族」(81.4%)が平均を上回る、または近似した値となった。一方で「単身」(61.5%)では平均を大きく下回った。

乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯とのクロス集計



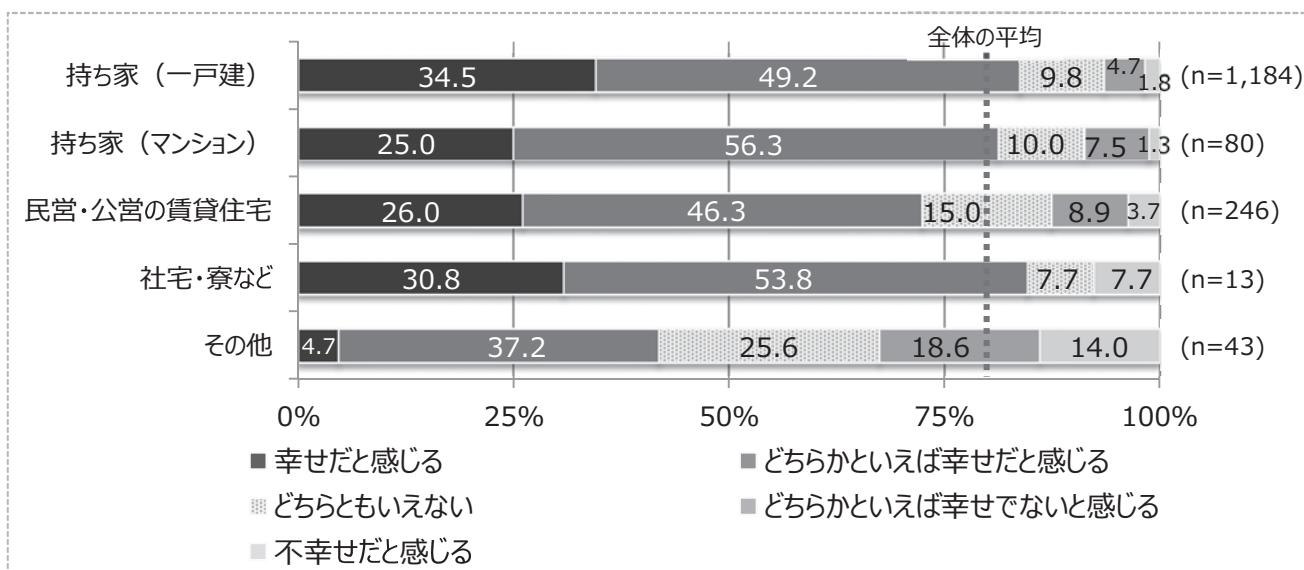
乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯別に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(80.4%)と比較すると、「乳幼児」のいる世帯(93.4%)が平均を大きく上回り、「小学生」のいる世帯(90.1%)、「中学生」のいる世帯(84.9%)でも平均を上回った。一方で「高齢者」のいる世帯(79.3%)では平均を下回った。

職業別構成とのクロス集計 n=1,493



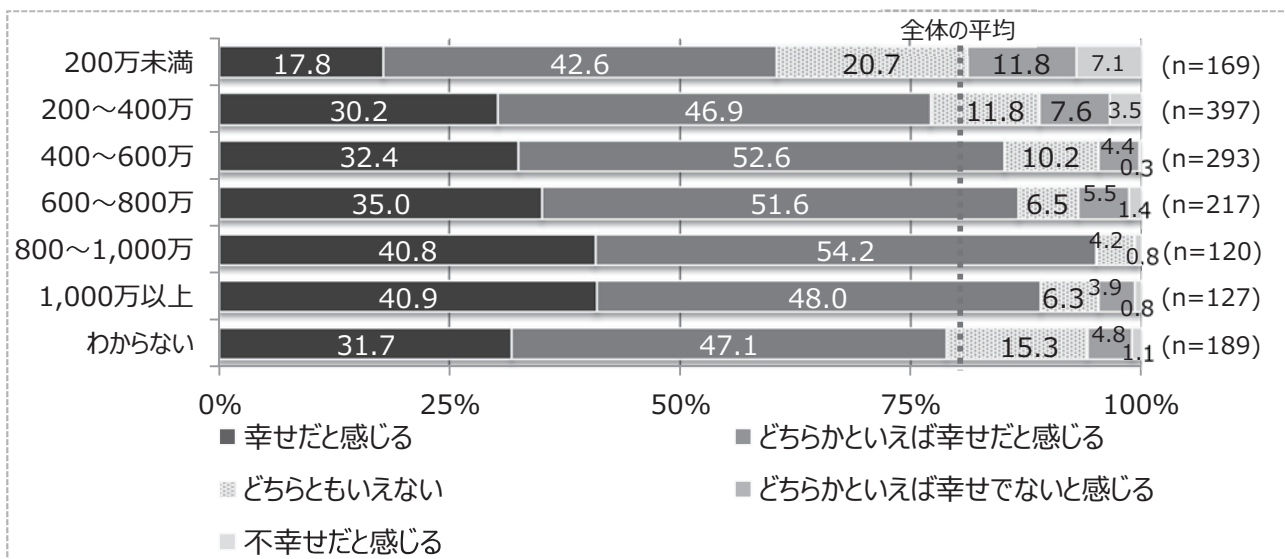
職業別(「その他」を除く)に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(80.4%)と比較すると、「学生」(89.3%)、「正規雇用者」(83.0%)が平均を上回った。一方で「非正規雇用者」(78.2%)、「無職」(79.9%)、「その他就業者」(80.1%)では平均を下回る、または近似した値となった。

住宅構成とのクロス集計 n=1,566



住宅別（「その他」を除く）に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を全体の平均（80.4%）と比較すると、「社宅・寮など」（84.6%）が平均を大きく上回り、「持ち家（一戸建て）」（83.7%）、「持ち家（マンション）」（81.3%）でも平均を上回る、または近似した値となった。一方で「民営・公営の賃貸住宅」（72.3%）では平均を下回った。

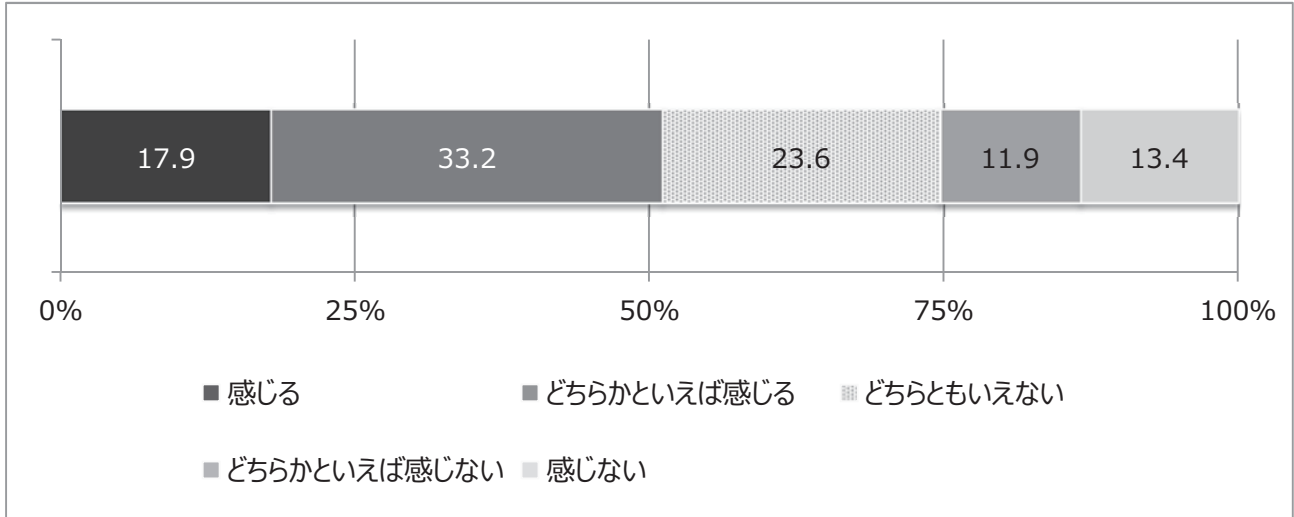
世帯収入別構成とのクロス集計 n=1,512



世帯収入別（「わからない」を除く）に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を全体の平均（80.4%）と比較すると、「800万以上～1,000万未満」（95.0%）が平均を大きく上回り、「1,000万以上」（88.9%）、「600万以上～800万未満」（86.6%）、「400万以上～600万未満」（85.0%）でも平均を上回った。一方で「200万未満」（60.4%）では平均を大きく下回り、「200万以上～400万未満」（77.1%）でも平均を下回った。

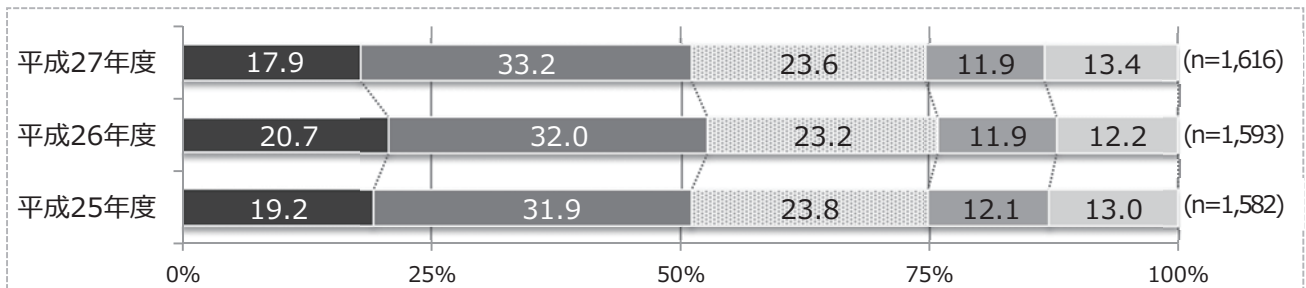
3 岐阜市民としての誇り

設問 31 岐阜市民であることに誇りを感じますか。 n=1,616



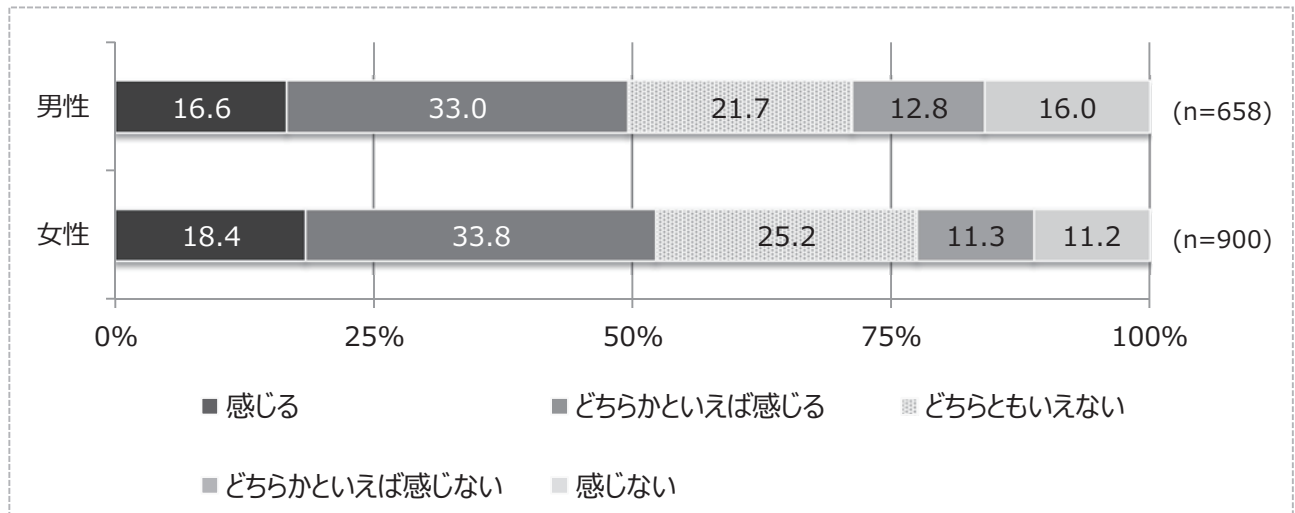
岐阜市民としての誇りについては、「感じる」(17.9%)、「どちらかといえば感じる」(33.2%)と回答した割合の合計が 51.1%となった。一方で「感じない」(13.4%)、「どちらかといえば感じない」(11.9%)と回答した割合の合計は 25.3%となった。

平成 25 年度、平成 26 年度調査結果との比較



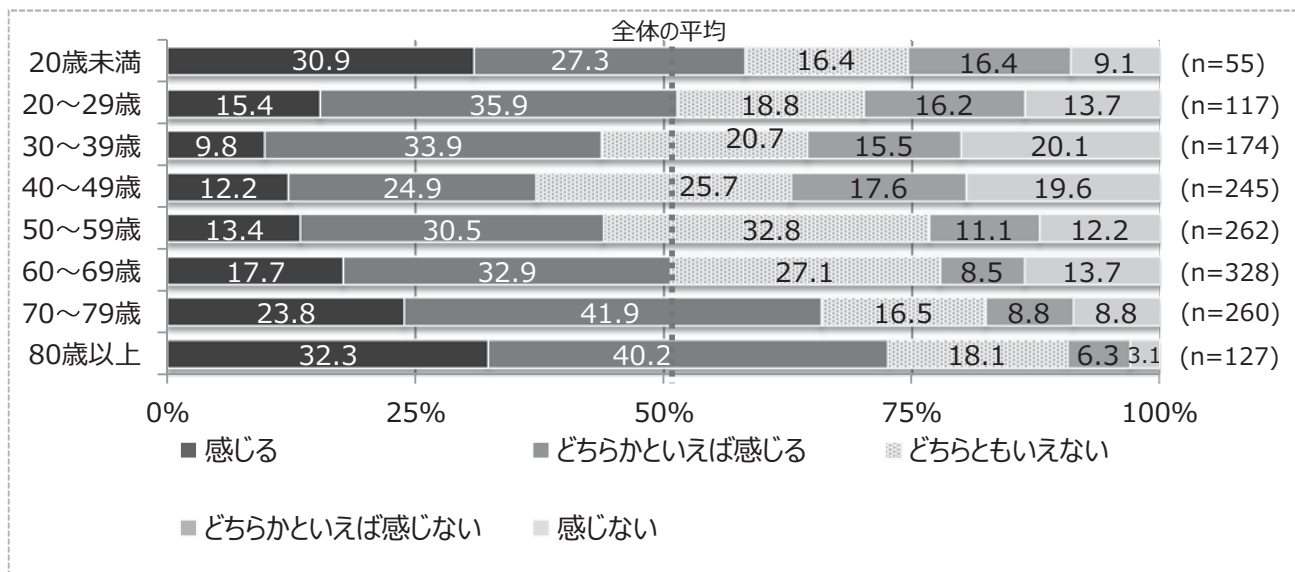
過去の調査結果と比較すると、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計 (51.1%) は、平成 25 年度 (51.1%)、平成 26 年度 (52.7%) と比較して、大きな変化はみられなかった。

男女別構成とのクロス集計 n=1,558



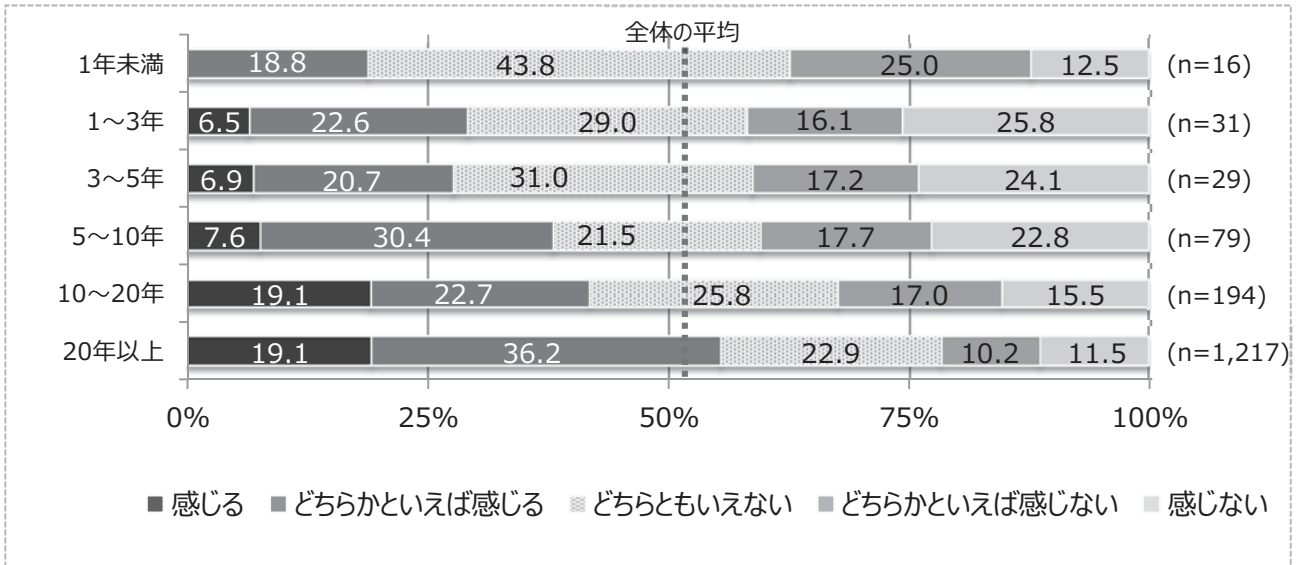
男女別に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を比較すると、「女性」(52.2%)が「男性」(49.6%)を上回った。

年齢階層別構成とのクロス集計 n=1,568



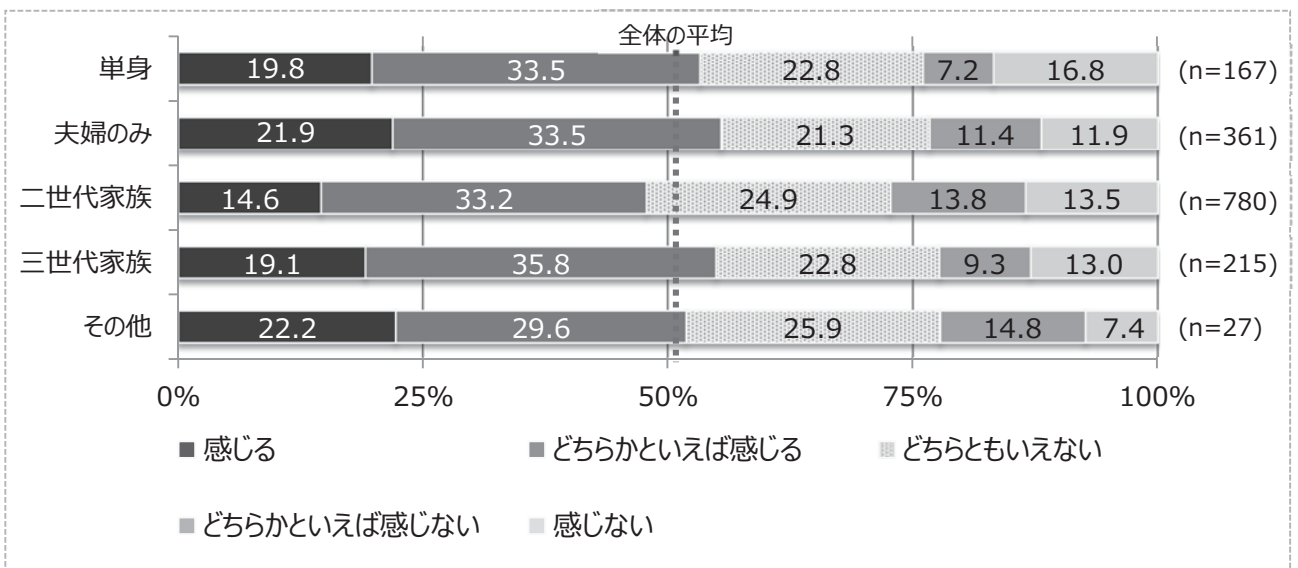
年齢階層別に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(51.1%)と比較すると、「80歳以上」(72.5%)、「70～79歳」(65.7%)が平均を大きく上回り、「20歳未満」(58.2%)、「20～29歳」(51.3%)でも平均を上回る、または近似した値となった。一方で「40～49歳」(37.1%)では平均を大きく下回り、「30～39歳」(43.7%)、「50～59歳」(43.9%)、「60～69歳」(50.6%)でも平均を下回る、または近似した値となった。

居住年数別構成とのクロス集計 n=1,566



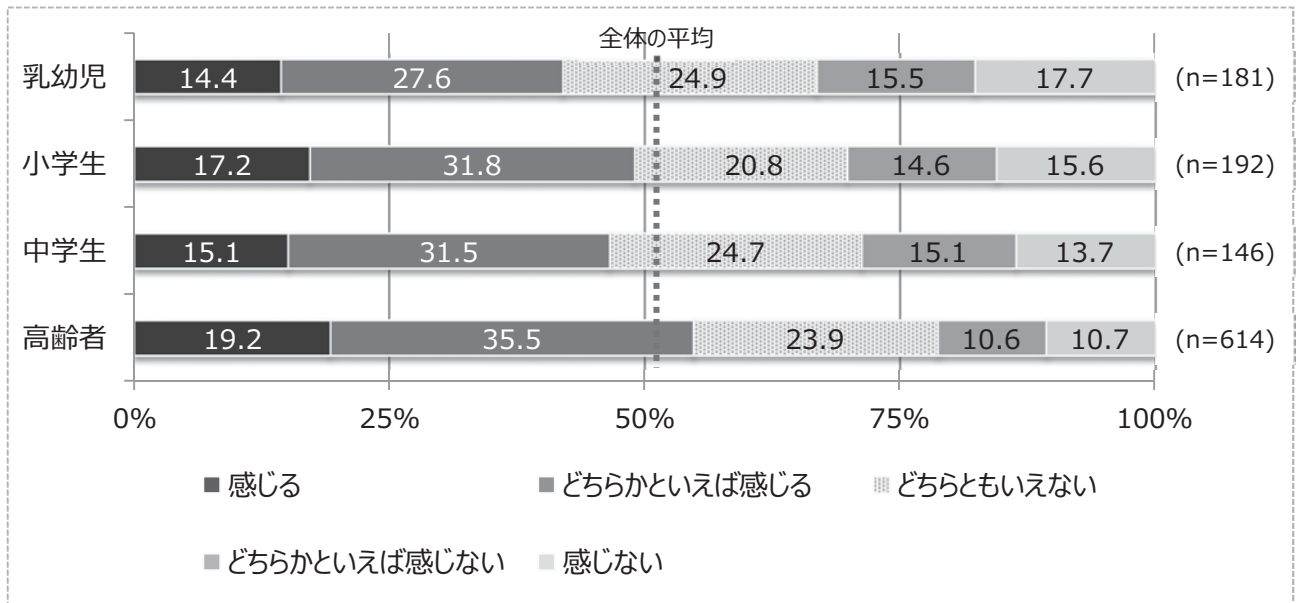
居住年数別に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(51.1%)と比較すると、「20年以上」(55.3%)が平均を上回った。一方で「1年未満」(18.8%)、「3年以上5年未満」(27.6%)、「1年以上3年未満」(29.1%)、「5年以上10年未満」(38.0%)では平均を大きく下回り、「10年以上20年未満」(41.8%)でも平均を下回った。

家族構成とのクロス集計 n=1,550



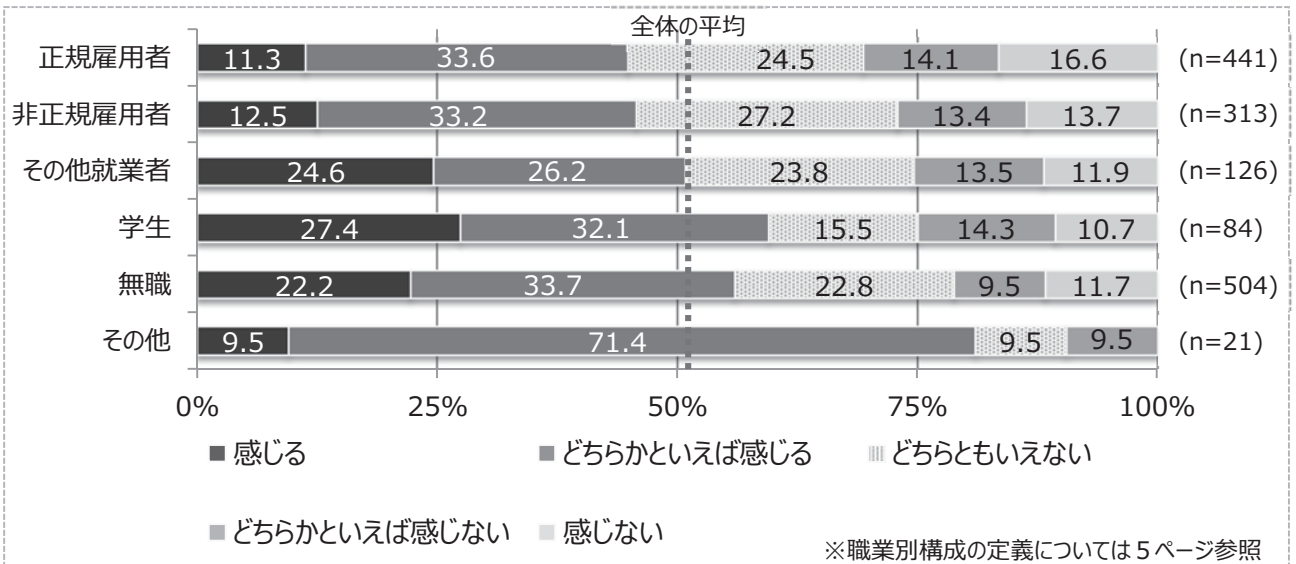
同居家族別(「その他」を除く)に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(51.1%)と比較すると、「夫婦のみ」(55.4%)、「三世世代家族」(54.9%)、「単身」(53.3%)が平均を上回った。一方で「二世世代家族」(47.8%)では平均を下回った。

乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯とのクロス集計



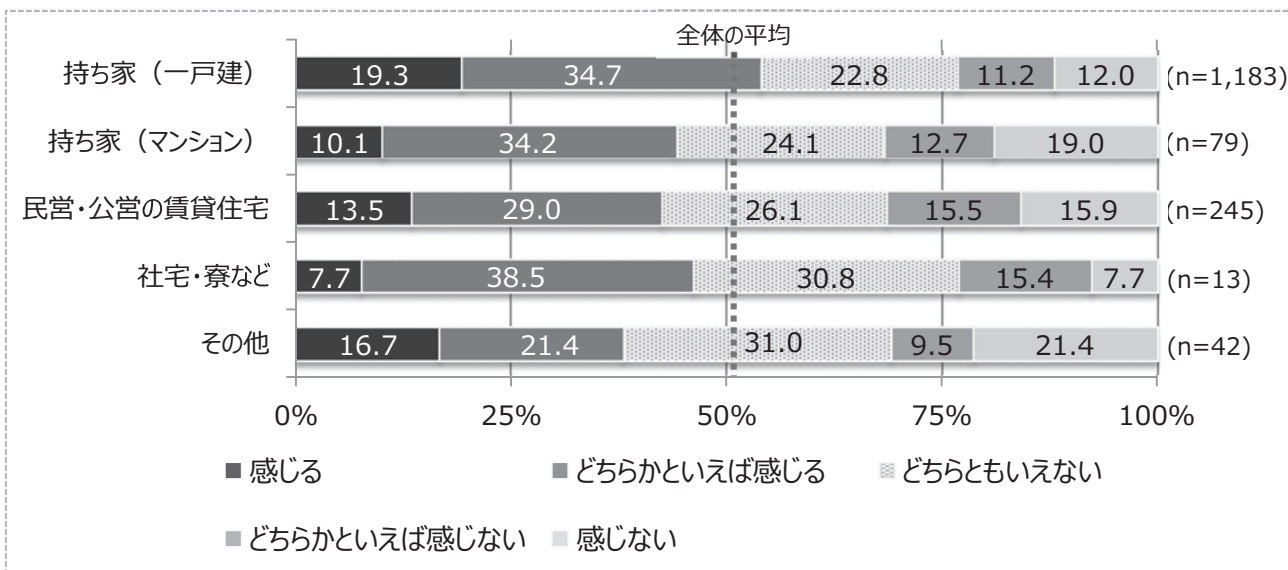
乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯別に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(51.1%)と比較すると、「高齢者」のいる世帯(54.7%)が平均を上回った。一方で「乳幼児」(42.0%)、「中学生」(46.6%)、「小学生」(49.0%)のいる世帯では平均を下回った。

職業別構成とのクロス集計 n=1,489



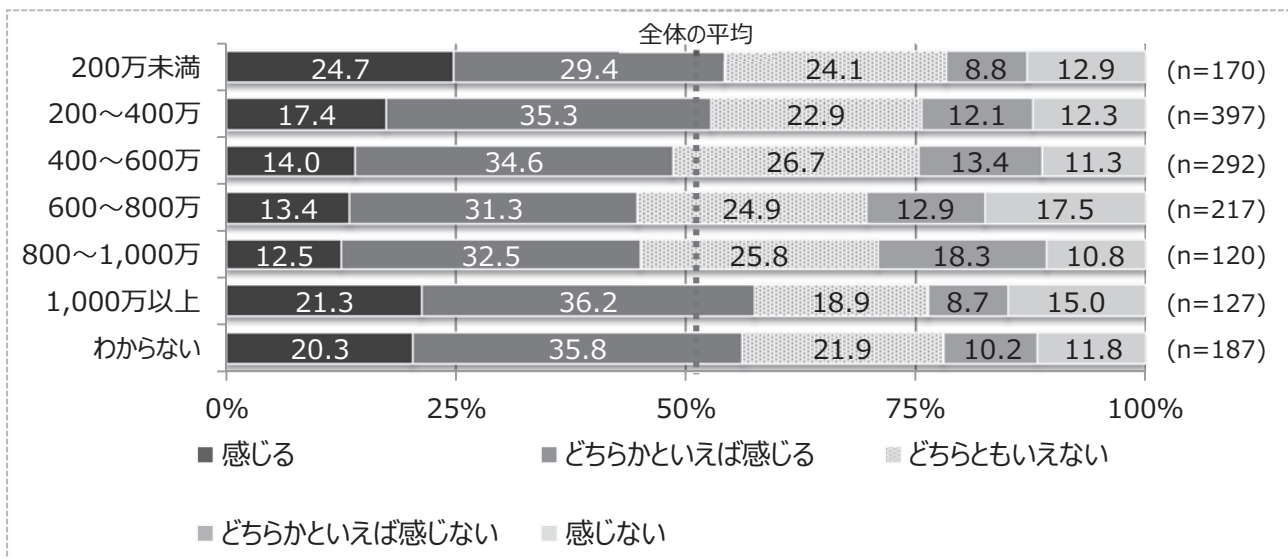
職業別(「その他」を除く)に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(51.1%)と比較すると、「学生」(59.5%)、「無職」(55.9%)が平均を上回った。一方で「正規雇用者」(44.9%)、「非正規雇用者」(45.7%)、「その他就業者」(50.8%)では平均を下回る、または近似した値となった。

住宅構成とのクロス集計 n=1,562



住宅別（「その他」を除く）に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均（51.1%）と比較すると、「持ち家（一戸建て）」（54.0%）が平均を上回った。一方で「民営・公営の賃貸住宅」（42.5%）、「持ち家（マンション）」（44.3%）、「社宅・寮など」（46.2%）では平均を下回った。

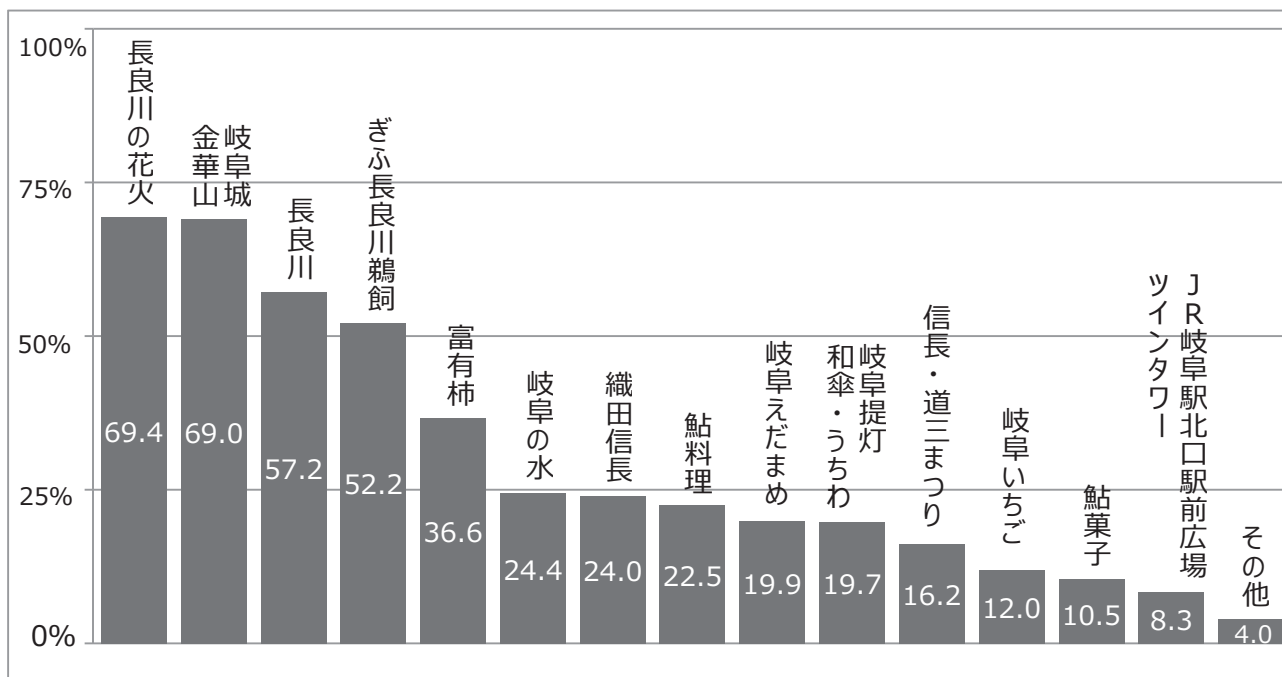
世帯収入別構成とのクロス集計 n=1,510



世帯収入別（「わからない」を除く）に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均（51.1%）と比較すると、「1,000 万以上」（57.5%）、「200 万未満」（54.1%）、「200 万以上～400 万未満」（52.7%）が平均を上回った。一方で「600 万以上～800 万未満」（44.7%）、「800 万以上～1,000 万未満」（45.0%）、「400 万以上～600 万未満」（48.6%）では平均を下回った。

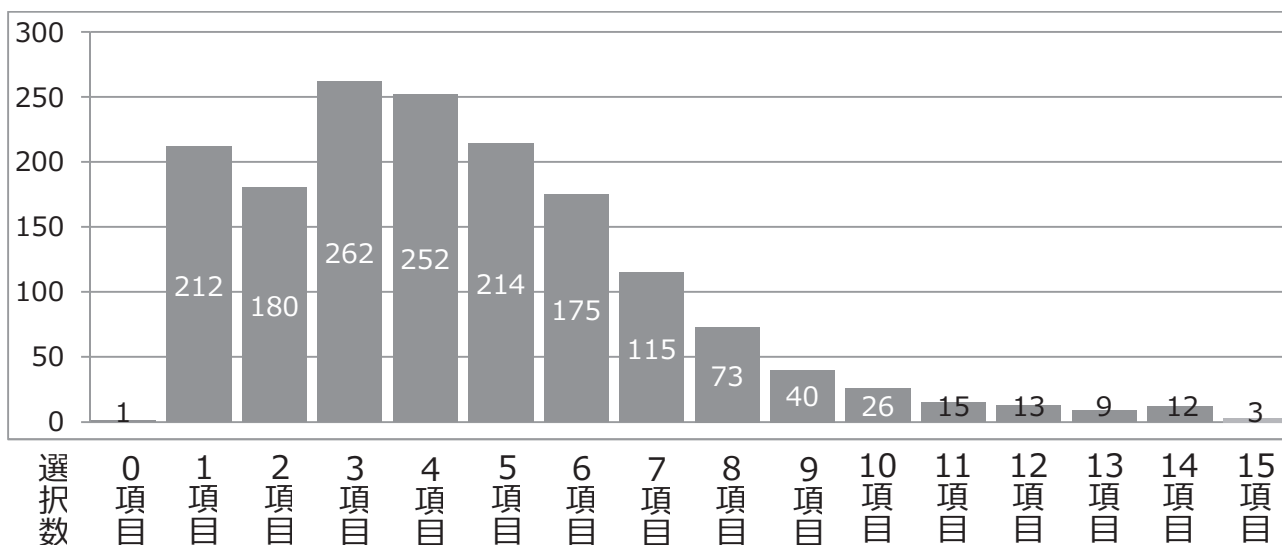
4 岐阜市の魅力

設問 30 岐阜市の魅力は何ですか。 n=1,602 (複数選択可)



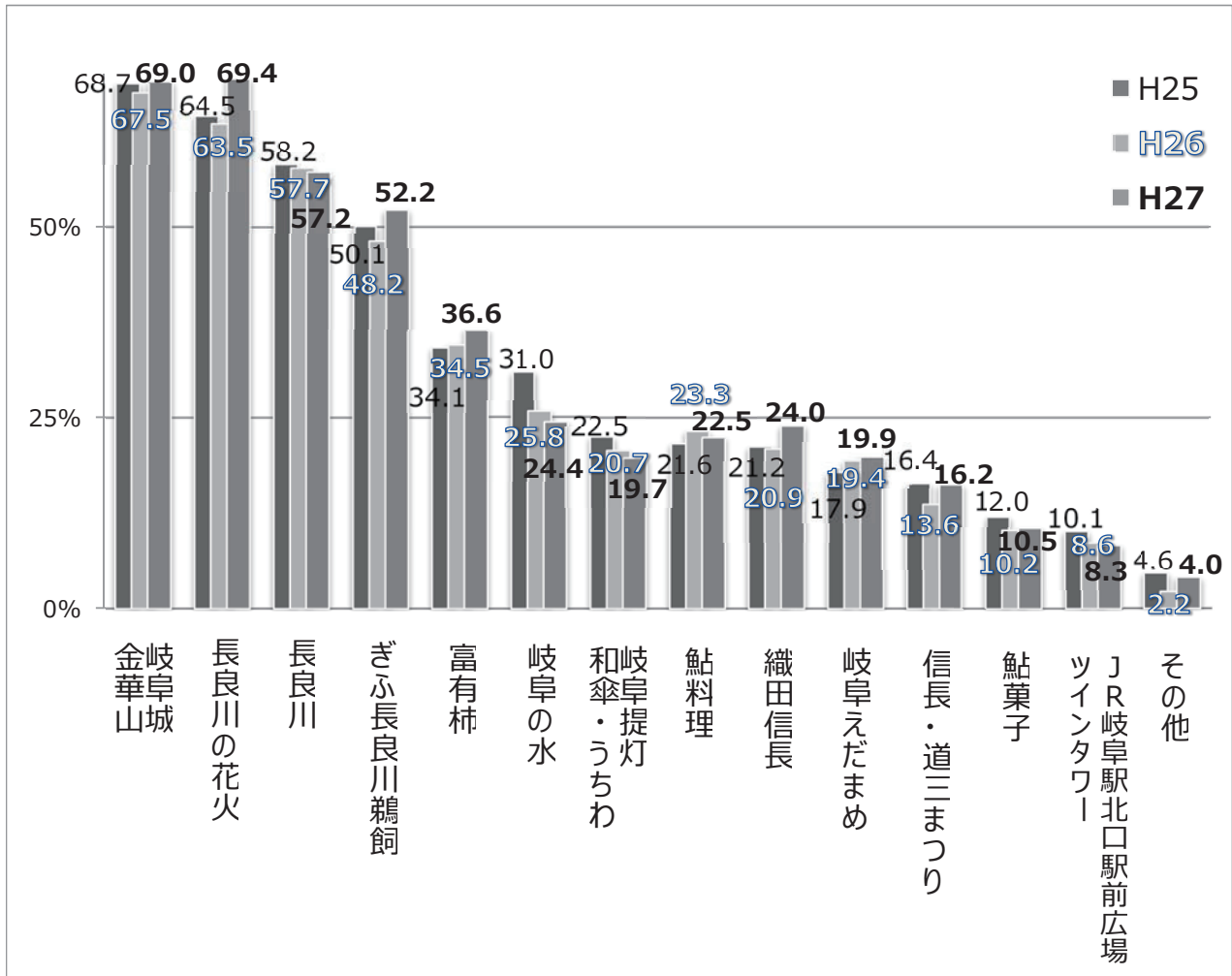
岐阜市の魅力の 15 項目(「その他」を含む。)のうち、選択された割合が最も高かったものは「長良川の花火」(69.4%)となり、次いで、「岐阜城・金華山」(69.0%)、「長良川」(57.2%)、「ぎふ長良川鵜飼」(52.2%)、「富有柿」(36.6%)が続いた。

魅力項目の選択数 n=1,602



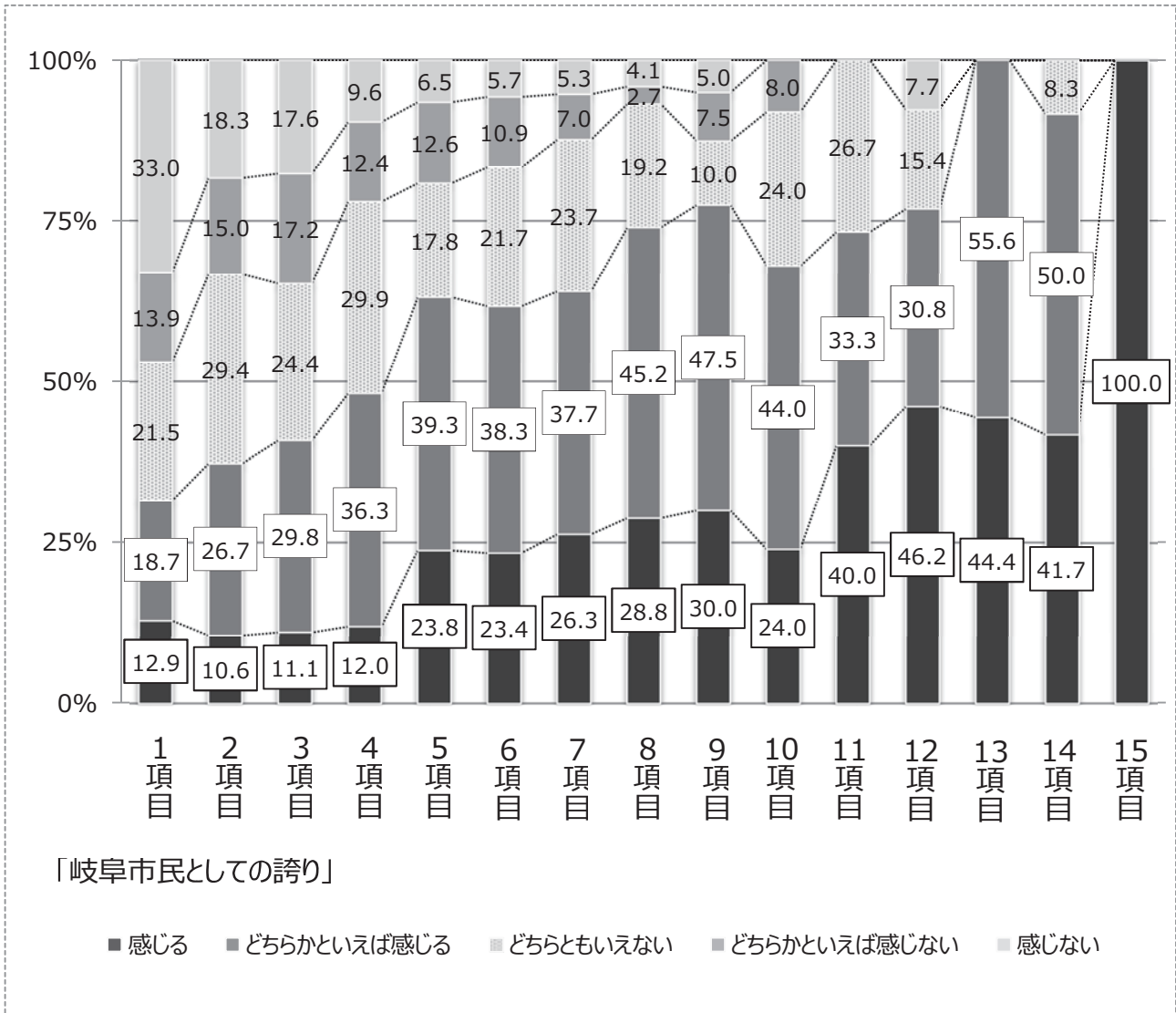
選択項目数を見ると、「3項目」(262人)が最も多く、次いで、「4項目」(252人)、「5項目」(214人)、「1項目」(212人)となった。

平成 25 年度、平成 26 年度調査結果との比較



平成 25 年度及び平成 26 年度調査結果と比較すると、「富有柿」、「岐阜えだまめ」の選択された割合は連続して増加した。一方で「長良川」、「岐阜の水」、「岐阜提灯・和傘・うちわ」、「JR岐阜駅北口駅前広場・ツインタワー」では選択された割合が連続して減少した。

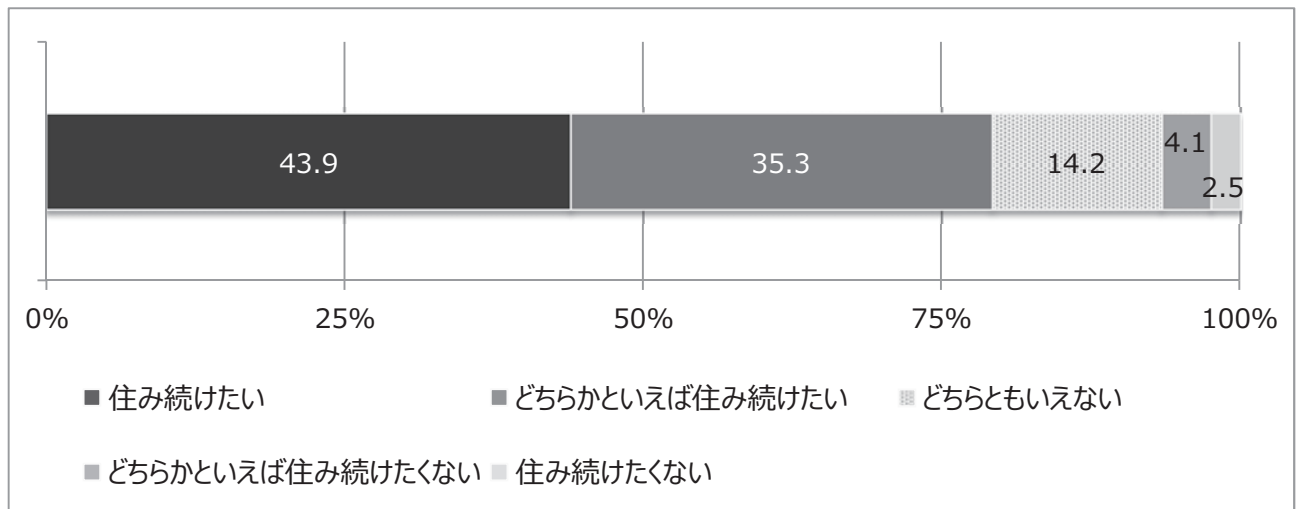
岐阜市民としての誇り（設問 31）とのクロス集計 n=1,616



選択項目数別に、岐阜市民としての誇りを「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計をみると、1 項目では 31.6% となった。一方で 14 項目で 91.7%、15 項目で 100.0% となったことなどから、魅力の選択項目数が増えるほど、岐阜市民としての誇りを感じている割合が高くなる概ねの傾向がみられた。

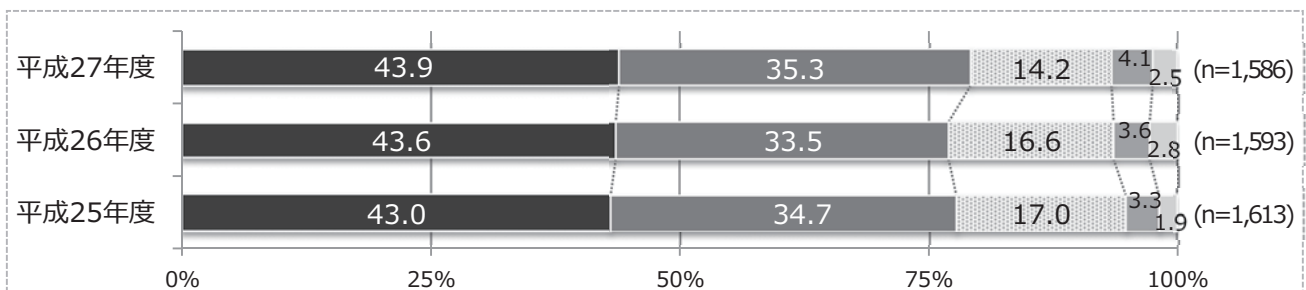
5 定住意向

設問 63 このまちに住み続けたいと思いますか。 n=1,586



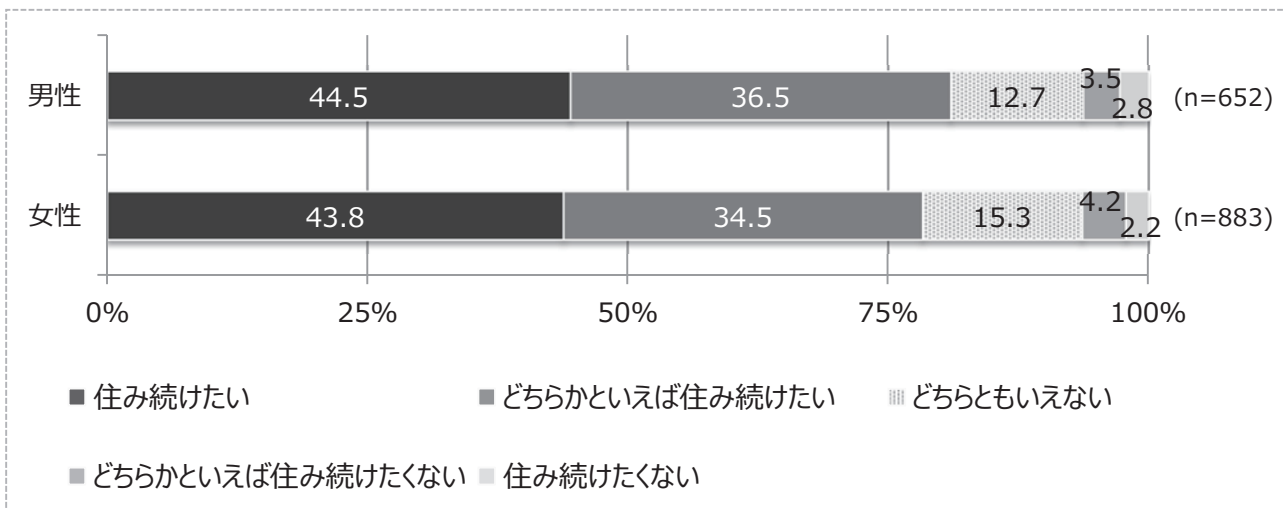
岐阜市への定住意向については、「住み続けたい」(43.9%)、「どちらかといえば住み続けたい」(35.3%)と回答した割合の合計が 79.2%となった。一方で「住み続けたくない」(2.5%)、「どちらかといえば住み続けたくない」(4.1%)と回答した割合の合計は 6.6%となった。

平成 25 年度、平成 26 年度調査結果との比較



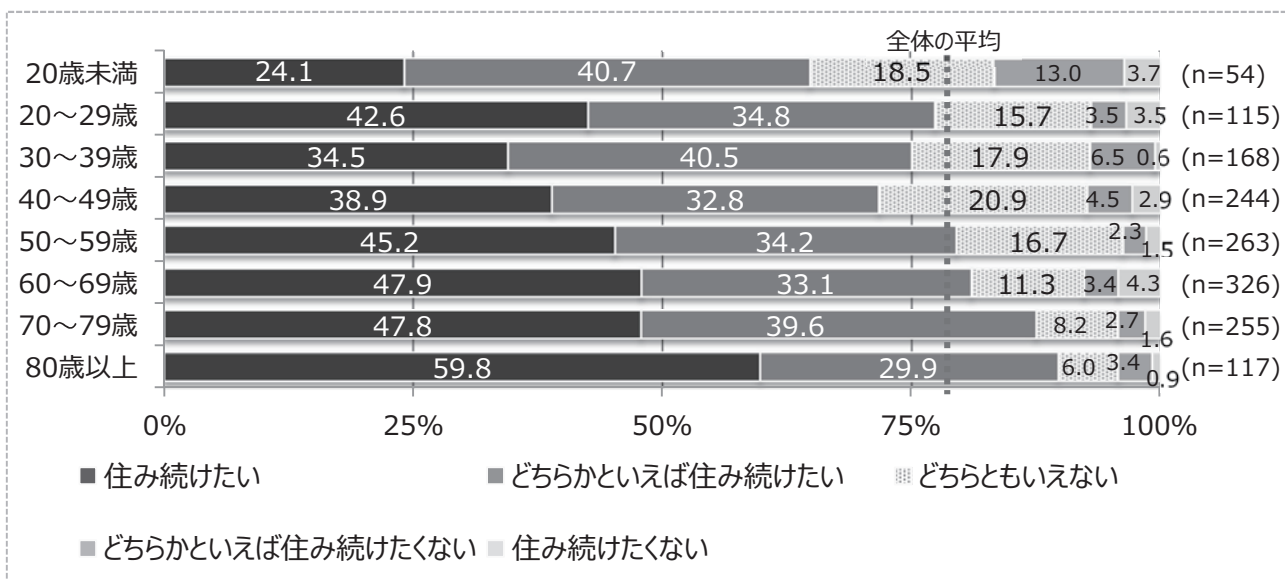
過去の調査結果と比較すると、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計(79.2%)は、平成 25 年度(77.7%)、平成 26 年度(77.1%)と比較して増加した。

男女別構成とのクロス集計 n=1,535



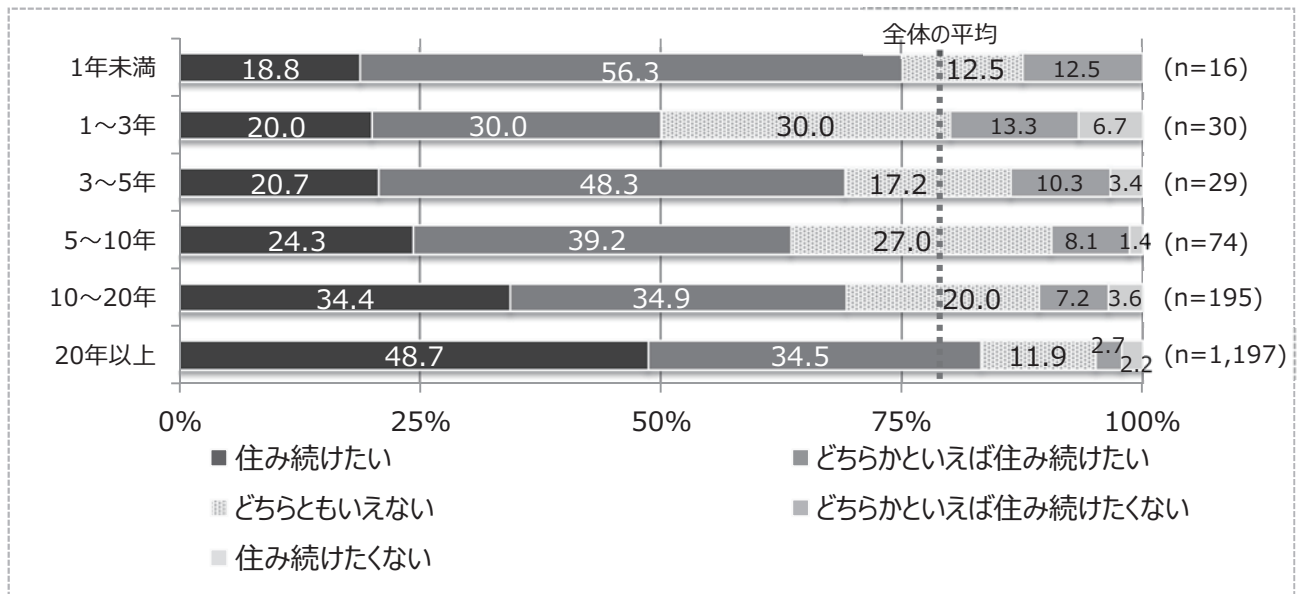
男女別に、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計を比較すると、「男性」(81.0%)が「女性」(78.3%)を上回った。

年齢階層別構成とのクロス集計 n=1,542



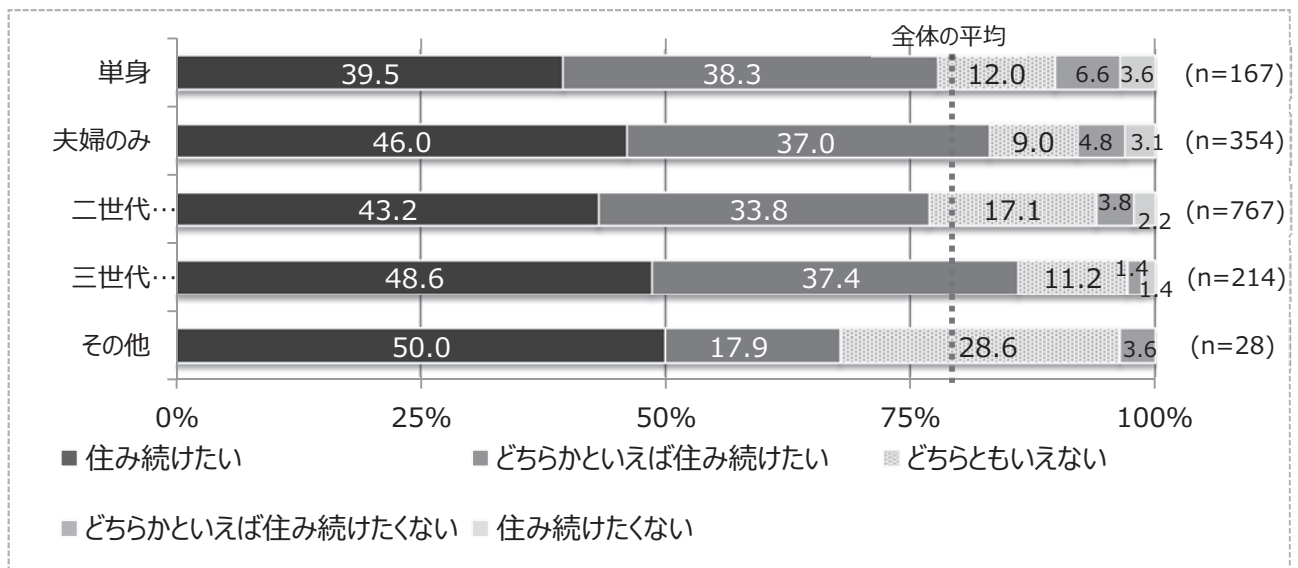
年齢階層別に、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計を全体の平均(79.2%)と比較すると、「80歳以上」(89.7%)が平均を大きく上回り、「70～79歳」(87.4%)、「60～69歳」(81.0%)、「50～59歳」(79.4%)でも平均を上回る、または近似した値となった。一方で「20歳未満」(64.8%)では平均を大きく下回り、「40～49歳」(71.7%)、「30～39歳」(75.0%)、「20～29歳」(77.4%)でも平均を下回った。

居住年数別構成とのクロス集計 n=1,541



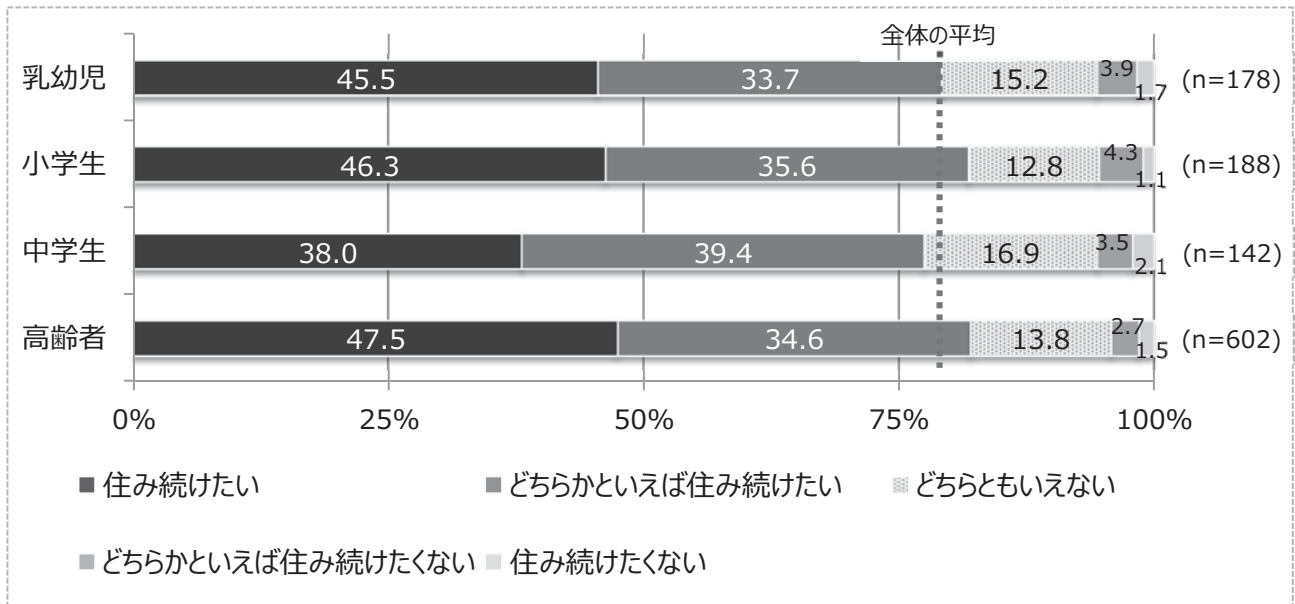
居住年数別に、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計を全体の平均(79.2%)と比較すると、「20年以上」(83.2%)が平均を上回った。一方で「1年以上3年未満」(50.0%)、「5年以上10年未満」(63.5%)、「3年以上5年未満」(69.0%)では平均を大きく下回り、「10年以上20年未満」(69.3%)、「1年未満」(75.1%)でも平均を下回った。

家族構成とのクロス集計 n=1,530



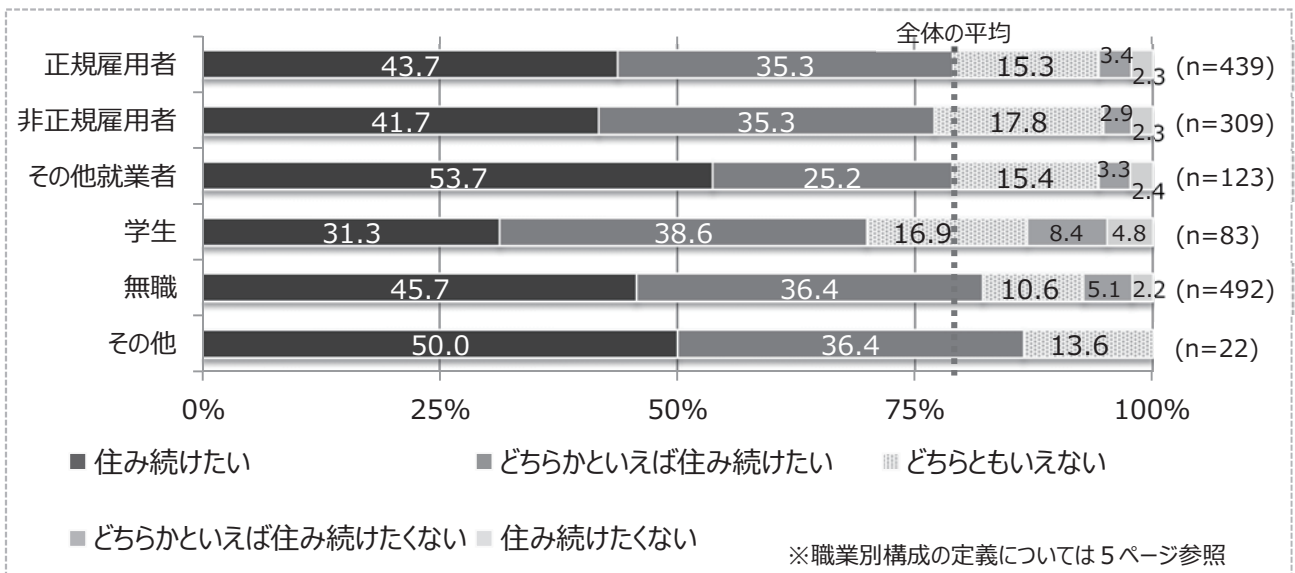
同居家族別(「その他」を除く)に、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計を全体の平均(79.2%)と比較すると、「三世世代家族」(86.0%)、「夫婦のみ」(83.0%)が平均を上回った。一方で「二世世代家族」(77.0%)、「単身」(77.8%)では平均を下回った。

乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯とのクロス集計



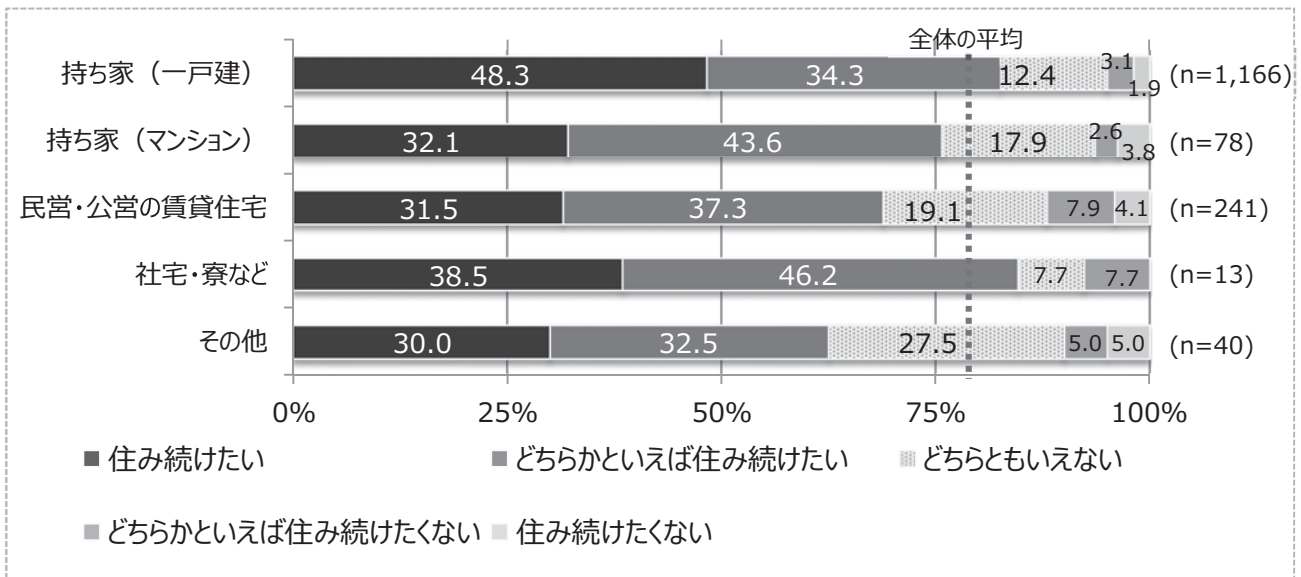
乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯別に、「住みたい」、「どちらかといえば住みたい」と回答した割合の合計を全体の平均(79.2%)と比較すると、「高齢者」のいる世帯(82.1%)、「小学生」のいる世帯(81.9%)、「乳幼児」のいる世帯(79.2%)が平均を上回る、または近似した値となった。一方で「中学生」のいる世帯(77.4%)では平均を下回った。

職業別構成とのクロス集計 n=1,468



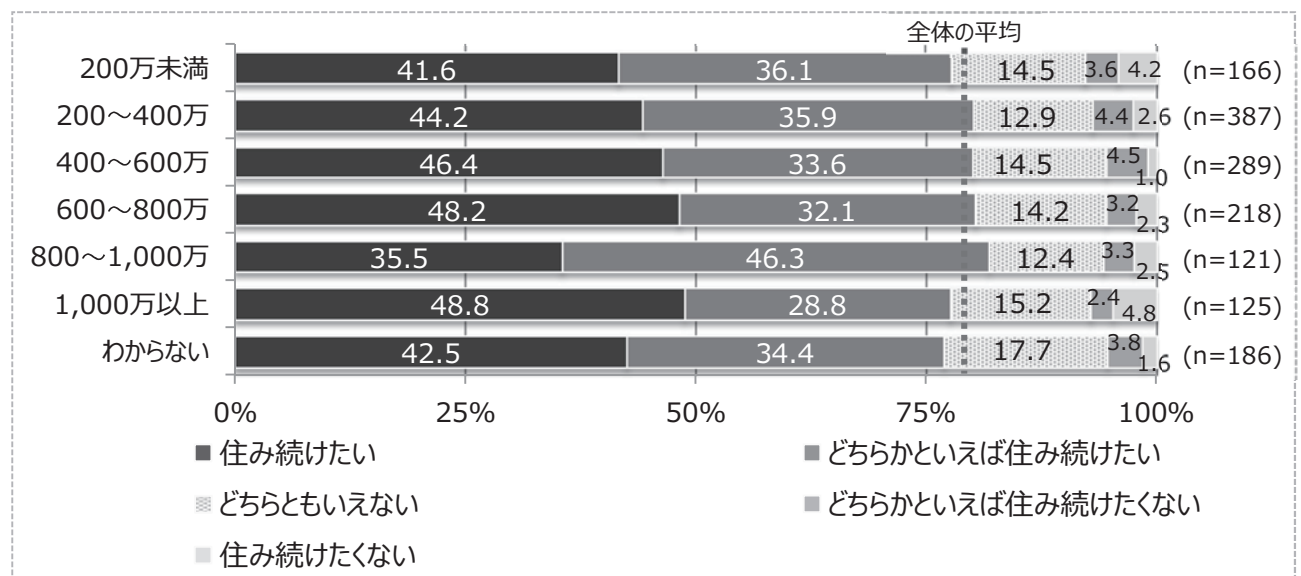
職業別(「その他」を除く)に、「住みたい」、「どちらかといえば住みたい」と回答した割合の合計を全体の平均(79.2%)と比較すると、「無職」(82.1%)が平均を上回った。一方で「学生」(69.9%)、「非正規雇用者」(77.0%)、「その他就業者」(78.9%)、「正規雇用者」(79.0%)では平均を下回る、または近似した値となった。

住宅構成とのクロス集計 n=1,538



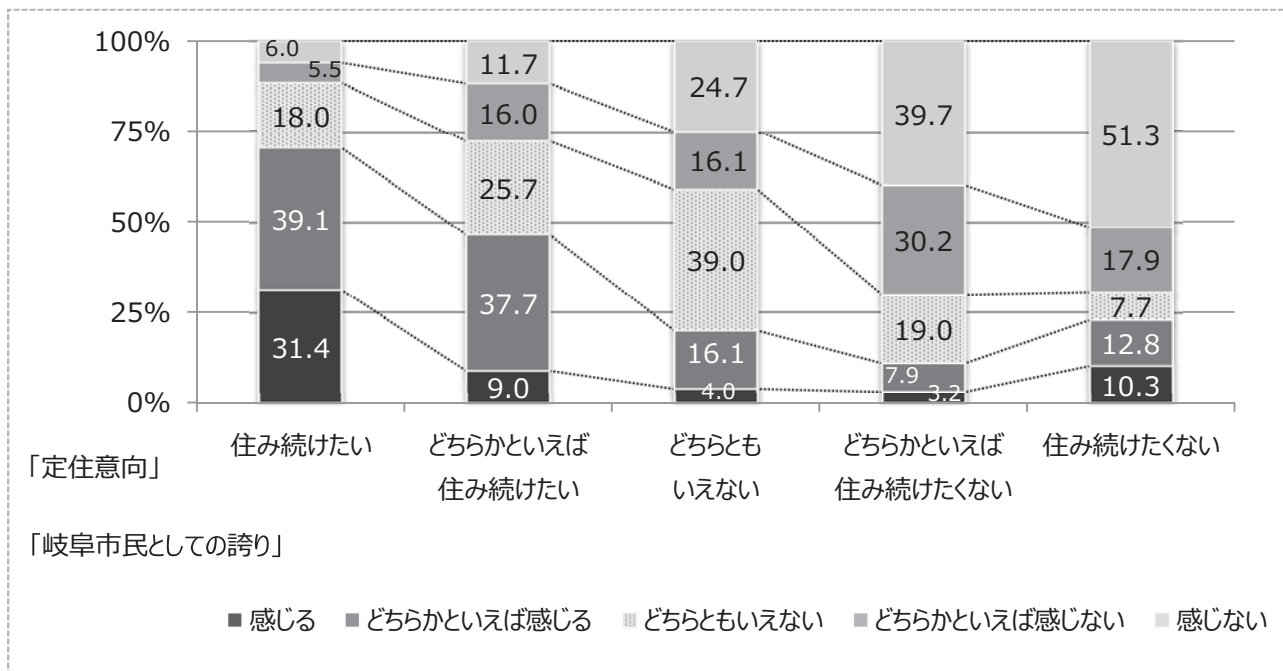
住宅別（「その他」を除く）に、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計を全体の平均（79.2%）と比較すると、「社宅・寮など」（84.7%）、「持ち家（一戸建）」（82.6%）が平均を上回った。一方で「民営・公営の賃貸住宅」（68.8%）では平均を大きく下回り、「持ち家（マンション）」（75.7%）でも平均を下回った。

世帯収入別構成とのクロス集計 n=1,492



世帯収入別（「わからない」を除く）に、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計を全体の平均（79.2%）と比較すると、「800万以上～1,000万未満」（81.8%）、「600万以上～800万未満」（80.3%）、「200万以上～400万未満」（80.1%）、「400万以上～600万未満」（80.0%）が平均を上回る、または近似した値となった。一方で「1,000万円以上」（77.6%）、「200万未満」（77.7%）では平均を下回った。

「岐阜市民としての誇り」（設問 31）とのクロス集計 n=1,570



岐阜市に「住み続けたい」と回答した人の中で、岐阜市民としての誇りを「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計は 70.5%となった。一方で岐阜市に「住み続けたくない」と回答した人の中では、同様の割合が 23.1%と低くなっていることなどから、定住意向が高いほど、岐阜市民としての誇りを感じている割合が高くなる概ねの傾向がみられた。